

第 5 次福島町総合計画前期実施計画
事業実施検証一覧

第5次福島町総合計画
政策等調査・総合計画事業進捗管理活動指標実績一覧

所属：議会事務局

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
議場等音響設備更新事業	定例に再開する会議の会議録調整日数 (単位：日)	50	50	31	62.00
議会中継システム更新事業	特別委員会等の会議録調整日数 (単位：日)	80	80	48	60.00
	議会中継アセス数 (単位：件)	50	50	187	374.00
	映像配信編集日数 (単位：日)	5	5	2	40.00

所属：総務課 (総務)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
生活館等改修事業	改修調査・改修工事件数 (単位：件)	4	2	1	50.00
公共施設維持保全事業	解体調査・工事及び予防・維持保全の件数 (単位：件)	-	1	1	100.00
情報系サーバー・業務用パソコン更新事業	更新台数 (単位：台)	70	7	3	42.86

所属：企画課

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
福島町がらる地元企業等応援事業	補助金交付金額 (単位：円)	-	50,000	160,011	320.02
地域おこし協力隊事業	隊員数 (単位：人)	-	3	3	100.00
三町連携による地域魅力発信事業	地域の魅力発信回数 (単位：回)	-	2	2	100.00
岩部地区交流センター整備事業	整備施設数 (単位：施設)	-	1	1	100.00
道の駅整備調査検討事業	ワーキング検討会議 (単位：回)	-	5	4	80.00
福島町産業活性化サポート事業	補助件数 (単位：件)	2	2	1	50.00
産学官連携産業活性化事業	出前講座開催回数 (単位：回)	5	5	4	80.00
人材育成・人材確保対策事業	漁業補助件数 (単位：件)	6	6	1	16.67
	農林業補助件数 (単位：件)	1	2	1	50.00
人材育成基金事業	基金積立額 (単位：千円)	-	20,000	20,000	100.00
人材育成支援事業	資格取得のための受験者数 (単位：人)	-	104	116	111.54
地域公共交通確保維持改善事業	1日平均乗車人数 (単位：人)	10.00	12.00	11.58	96.50
定住促進住宅等奨励事業	交付件数 (単位：件)	-	3	3	100.00
定住促進住宅整備事業	用地購入及び設計業務発注数 (単位：件)	-	2	2	100.00
出産祝金交付事業	交付件数 (単位：件)	17	20	18	90.00

所属：産業課 (農林)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
福島町農業協同組合活動推進事業	福島町農業協同組合員の新規加入人数 (単位：人)	1	1	1	100.00
公費造林事業	公費造林事業の実施件数 (単位：件)	3	3	2	66.67
町有林造成事業	町有林整備面積 (単位：ha)	20	20	12	60.00
林業専用道整備事業	林業専用道開設路線数 (単位：本)	1	1	1	100.00
広域基幹林道島前線改良事業	広域林道改良箇所数 (単位：箇所)	-	1	1	100.00
森林情報システム整備事業	町有林整備事業面積 (単位：ha)	-	16	12	75.00
林道橋梁点検調査事業	林道橋梁点検調査・改修箇所数 (単位：箇所)	-	2	2	100.00
小規模治山事業 (補助)	小規模治山施設整備箇所数 (単位：箇所)	1	1	1	100.00

所属：産業課（水産）

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
コンプ養殖係留ブロック設置事業	養殖コンプ水揚量（単位：トン）	332	322	503.89	156.49
キタムラサキウニの深淺移植事業	キタムラサキウニの深淺移植数（単位：トン）	50	50	50	100.00
種苗生産事業	ウロビ放流数（単位：粒）	40,000	40,000	40,000	100.00
試験養殖事業	ウニ放流数（単位：粒）	2,000,000	2,000,000	2,000,000	100.00
産業振興資金貸付事業	トラウトサマーモン養殖数（単位：匹）	-	550	400	72.73
新たな陸上養殖技術の開発による蝦夷アワビブランド化事業	水産加工会社数（単位：社）	10	10	10	100.00
吉岡漁港トイレ整備事業	技術者及び雇用者数（単位：人）	-	5	5	100.00
	対象トイレ施設数（単位：箇所）	-	1	1	100.00

所属：産業課（商工観光）

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
商工会支援事業	商工会組織率（単位：%）	67	68	69.1	101.62
地域経済消費拡大活性化事業	発行数（単位：組）	5,000	3,000	3,000	100.00
横綱の里づくり事業	夏合宿開催中横綱記念館入込数（単位：人）	157	170	0	0.00
観光協会支援事業	イベント入込数（単位：人）	8,000	9,000	5,500	61.11
観光関連施設解体事業	老朽化した観光施設の解体箇所（単位：箇所）	-	1	1	100.00
伊能忠敬記念公園整備事業	整備件数・イベント開催件数（単位：件）	-	2	1	50.00
歴史探訪地域活性化事業	参加者数（単位：人）	-	105	50	47.62
福島町若部海岸わくわくクルーズ事業	観光客入込数（単位：人）	-	80,000	80,176	100.22
ラジオ公開番組事業	観光客入込数（単位：人）	-	80,000	80,176	100.22

所属：町民課

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
冬の生活支援事業	補助件数（単位：件）	485	485	397	81.86
高齢者等屋根の雪下し費用助成事業	補助件数（単位：件）	50	50	34	68.00
合葬式墓地整備事業	合葬式墓地の周知件数（単位：件）	-	1	1	100.00
戸籍総合システム更新事業	保守及び更新件数（単位：件）	1	1	1	100.00

所属：福祉課

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
いきいき健康ふくしま21推進事業	健康カレンダーの配布数（単位：世帯）	2,400	2,400	2,117	88.21
がん検診推進事業	胃がん検診受診者数（単位：人）	385	385	237	61.56
吉岡温泉改修事業	肺がん検診受診者数（単位：人）	440	440	376	85.45
道南トクターへり運航事業	利用者数（単位：人）	67,000	66,000	65,120	98.67
町立診療所整備事業	年間出勤件数（単位：件）	11	13	8	61.54
安心生活創造事業	開院月数（単位：月）	-	7	10	142.86
老人福祉施設整備事業（特養）	見守り対象者数（単位：人）	1,000	1,000	1,051	105.10
老人福祉施設整備事業（デイ）	見守り台帳登録者数（単位：人）	700	700	728	104.00
医療費助成事業	施設入所定員（単位：人）	50	50	50	100.00
	デイサービス利用定員（単位：人）	20	20	20	100.00
	助成件数（単位：件）	380	380	342	90.00

所属：建設課

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
福島町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定事業	発注件数 (単位：件)	-	1	1	100.00
新緑公園整備事業	更新施設数 (単位：件)	1	2	2	100.00
橋梁長寿命化事業	橋梁補修橋梁数 (単位：橋)	2	1	1	100.00
町道みどり町線整備事業	用地収面積 (単位：㎡)	-	90	90	100.00
町道崎夷ヶ沢線整備事業	事業実施件数 (単位：件)	-	1	1	100.00
町道福島月崎幹線整備事業	事業実施件数 (単位：件)	-	2	2	100.00
町道公営住宅線歩道拡張事業	事業実施件数 (単位：件)	-	1	1	100.00
福島町現況図デジタル化整備事業	事業実施件数 (単位：件)	-	1	1	100.00
町営住宅建替事業	住宅環境改善率 (単位：%)	-	13.8	13.8	100.00
美山団地設備改修事業	委託件数及び改修住宅戸数 (単位：件・戸)	-	12	12	100.00
空家対策支援事業	解体空家戸数 (単位：戸)	-	10	14	140.00
防犯灯LED化照明導入促進事業	LED化する街灯数 (単位：本)	-	175	186	106.29

所属：教育委員会事務局 (学校教育)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
基礎学力向上対策事業	臨時教員によるTT等の授業時数 (単位：時間)	385	385	408	105.97
ALIT招致事業	ALITによるTT授業時数 (単位：時間)	550	600	621	103.50
教育用コンピュータ等整備事業	学校ICT整備計画策定・支援 (単位：校)	-	3	3	100.00
教員住宅改修事業	教員住宅改修実施棟数 (単位：棟)	-	1	1	100.00
福島商業高校存続対策事業	入学者数の確保 (単位：人)	20	20	15	75.00
福島中学校楽器整備事業	吹奏楽部部員数 (単位：人)	-	23	13	56.52
友好市町交流事業	中学生派遣人数 (単位：人)	6	6	4	66.67

所属：教育委員会事務局 (生涯学習)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
福祉センター高圧設備改修事業	福祉センター利用者数 (単位：人)	-	21,000	19,698	93.80
横綱太鼓用具整備事業	改修予定用具数 (単位：個)	-	10	16	160.00

所属：教育委員会事務局 (学校給食センター)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
給食配送車購入事業	給食の配送日数 (単位：日)	190	195	209	107.18

所属：福島消防署

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
水槽付消防ポンプ自動車更新事業(水I-A型)	消防ポンプ車両更新数(単位:台)	-	1	1	100.00
小型動力ポンプ付分団積載車更新事業	分団のポンプ車両更新数(単位:台)	-	1	1	100.00
小型動力ポンプ更新事業	分団の小型動力ポンプ更新数(単位:台)	-	1	1	100.00
消防署庁舎改修事業	改修箇所数(単位:箇所)	-	1	1	100.00

所属：建設課(水道)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
老朽配水管更新事業	更新率(単位:%)	-	29.0	29.1	100.34
水道メーター器改良事業	更新台数(単位:台)	340	165	142	86.06
福島町水道事業変更認可策定事業	策定数(単位:件)	-	1	1	100.00
町道福島月崎幹線配水管敷設事業	事業実施件数(単位:件)	-	1	1	100.00

所属：町民課(浄化槽整備特会)

事業計画名	活動指標	基準値/H27	H30目標	H30実績	達成率/H30
浄化槽市町村整備推進事業	町管理型浄化槽の設置基数(単位:基)	18	10	10	100.00
浄化槽推進促進事業	補助件数(単位:件)	15	10	8	80.00

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】水産業・水産加工業

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
水産物鮮度保持施設整備事業	産業課(水産)	実施内容	実施設計、工事監理、施設建設工事(28・29継続事業)			
		進捗・効果	28年度工事が予定どおり完了し、29年度工事に円滑に繋げることができた。			
		今後の課題	地中障害物の判明により、設計変更等による対応を要する。			
		指標1 基準値(H27)	製氷供給量(単位:t/年)			
		目標	480	480		
		実績	0	1		
達成率	%	0				
コンブ養殖係留ブロック設置事業	産業課(水産)	実施内容	係留ブロック設置(8t増設40個)、根綱補強(全施設)			
		進捗・効果	施設補強により、災害対策等が図られた。			
		今後の課題	増産及び災害対策の面からも、引き続き補強が必要。			
		指標1 基準値(H27)	養殖コンブ水揚量(単位:トン)			
		目標	332	100		
		実績	156	105		
達成率	%	105				
キタムラサキウニの深浅移殖事業	産業課(水産)	実施内容	漁協への事業費補助(ウニ深浅移殖50t)	漁協への事業費補助(ウニ深浅移殖50t)	漁協への事業費補助(ウニ深浅移殖50t)	
		進捗・効果	未利用資源の有効活用が図られた。	未利用資源の有効活用が図られた。	未利用資源の有効活用が図られた。	
		今後の課題	漁家経営の安定向上のため、引き続き事業の実施が必要。	漁家経営の安定向上のため、引き続き事業の実施が必要。	漁家経営の安定向上のため、引き続き事業の実施が必要。	
		指標1 基準値(H27)	キタムラサキウニの深浅移殖数(単位:トン)			
		目標	50	50	50	50
		実績	50	50	50	50
達成率	%	100	100	100		
種苗生産事業	産業課(水産)	実施内容	漁協への事業費補助(中間育成施設維持/アワビ4万粒、ウニ500万粒種苗育成・放流)	漁協への事業費補助(中間育成施設維持/アワビ4万粒、ウニ500万粒種苗育成・放流)	漁協への事業費補助(中間育成施設維持/アワビ4万粒、ウニ500万粒種苗育成・放流)	
		進捗・効果	健苗の放流により、資源の回復・漁獲の安定に寄与することができた。	健苗の放流により、資源の回復・漁獲の安定に寄与することができた。	健苗の放流により、資源の回復・漁獲の安定に寄与することができた。	
		今後の課題	育成施設の維持のため、引き続き事業実施が必要。	育成施設の維持のため、引き続き事業実施が必要。	育成施設の維持のため、引き続き事業実施が必要。	
		指標1 基準値(H27)	アワビ放流数(単位:粒)			
		目標	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績	40,000	40,000	40,000	40,000
		達成率	%	100	100	100
		指標2 基準値(H27)	ウニ放流数(単位:粒)			
		目標	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
		実績	5,000,000	5,000,000	2,000,000	2,000,000
達成率	%	250	100	100		
試験養殖事業	産業課(水産)	実施内容	トラウトサーモン試験養殖(水槽等設備導入、稚魚80尾飼育)	トラウトサーモン試験養殖(水槽等設備導入、稚魚470尾追加飼育)	トラウトサーモン試験養殖(水槽等設備導入、稚魚400尾飼育)	
		進捗・効果	飼育を開始し、湧水での適応調査を実施するなどの試験が進められた。	水槽規模を拡充し、稚魚飼育数を増やすなど、計画どおり試験が進められた。	水槽規模を拡充し、今後の試験に向け準備が進められた。	
		今後の課題	稚魚の追加飼育に向け、スケジュールの再調整が必要。	外的要因による減魚などもあり、事業化に向けては事業の見直しが必要。	外的要因による減魚、人的管理要素などもあり、事業化に向けては事業の見直しが必要。	
		指標1 基準値(H27)	トラウトサーモン養殖数(単位:匹)			
		目標	-	200	380	550
		実績	-	80	470	400
達成率	%	40	124	73		

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】水産業・水産加工業

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
産業振興資金貸付事業	産業課(水産)	実施内容	産業振興資金貸付	産業振興資金貸付	産業振興資金貸付		
		進捗・効果	スルメ加工業者の経営安定に寄与することができた。	スルメ加工業者の経営安定に寄与することができた。	スルメ加工業者の経営安定に寄与することができた。		
		今後の課題	イカ不漁による原料高騰のため、継続的な支援を要する。	イカ不漁による原料高騰のため、継続的な支援を要する。	イカ不漁による原料高騰のため、継続的な支援を要する。		
		指標1	基準値(H27)	水産加工会社数(単位:社)			
		目標		10	10	10	
		実績		10	10	10	
		達成率	%		100	100	
新たな陸上養殖技術の開発による蝦夷アワビブランド化事業	産業課(水産)	実施内容	飼育管理、飼育槽開発研究、商品開発ほか	飼育管理、飼育槽整備、養殖加工施設整備(実施設計、施設建設、工事監理)ほか	飼育管理、コスト検証、マーケティング等		
		進捗・効果	技術確立により、効果的な試験を行うことができた。	飼育状況も良好であり、また、飼育拠点の整備がされ、今後の事業に向け、効果的に実施された。	飼育状況も良好であり、また、拠点施設での事業が実施され、今後の事業に向け、準備が進められた。		
		今後の課題	短期間での施設整備が求められており、円滑な対応を要する。	海水の安定的な供給など、施設等の一部見直しを要する。	海水の安定的な供給など、施設等の一部見直しとともに、経営を前提とした基盤整備を要する。		
		指標1	基準値(H27)	技術者及び雇用者数(単位:人)			
		目標		-	1	2	5
		実績		-	2	3	5
		達成率	%		200	150	100
未利用資源を利用した「食べる昆布」で地域を活性化する事業	産業課(水産)	実施内容	試験加工設備導入、試験施設整備	企業による事業実施			
		進捗・効果	漁協・企業との連携により、企業主体による事業展開に繋げることができた。	企業実施となったため、関係予算の執行はなかった。			
		今後の課題	規模拡充に向け、引き続き支援が必要。	事業費の負担はないが、事業実施に向け、企業・漁協等との連携が必要。			
		指標1	基準値(H27)	雇用者数(単位:人)			
		目標		-	2	5	
		実績		-	6	10	
		達成率	%		300	200	
漁業振興施設建設事業	産業課(水産)	実施内容		漁協水産物保管施設整備に対する補助			
		進捗・効果		設計額が予定を超過し、追加補正などが生じたが、期間内にて完成した。			
		今後の課題		特になし。			
		指標1	基準値(H27)	製品保管倉庫数			
		目標		1		2	
		実績		0		2	
		達成率	%			100	
水産物供給基盤機能保全事業	産業課(水産)	実施内容		吉岡漁港機能保全計画策定等に係る地元負担金			
		進捗・効果		計画が策定され、今後の整備方針が示された。			
		今後の課題		北海道予算の関係があり、計画どおり整備が進められるかは不透明である。			
		指標1	基準値(H27)	対象漁港数			
		目標		1		1	
		実績		0		1	
		達成率	%			100	

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】水産業・水産加工業

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
吉岡漁村環境改善総合センター耐震診断事業	産業課(水産)	実施内容		耐震診断業務		
		進捗・効果		施設の活用方針を定めるため、耐震診断業務を実施した。		
		今後の課題		耐震基準に満たない結果となり、解体も含めた今後の活用方針を検討する必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	対象施設数		
	目標	-		1		
	実績	-		1		
	達成率	%		100		
吉岡漁港トイレ整備事業	産業課(水産)	実施内容			吉岡漁港トイレ周辺整備及び便器洋式化等	
		進捗・効果			利用が多い時期に整備が完了できなかったが、洋式化などにより、利用者からは好評であった。	
		今後の課題			洗浄便座や自動手洗い器の設置により、冬季間の凍結防止徹底のため、水抜き等業者管理を要する。	
		指標1	基準値(H27)	対象トイレ施設数		
	目標	1			1	
	実績	0			1	
	達成率	%			100	

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】 農業

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
福島町農業協同組合活動推進事業	産業課 (農林)	実施内容	福島町農業協同組合活動推進事業に係る補助金の交付	福島町農業協同組合活動推進事業に係る補助金の交付	福島町農業協同組合活動推進事業に係る補助金の交付		
		進捗・効果	福島町農業協同組合の健全経営に寄与した。	福島町農業協同組合の健全経営に寄与した。	福島町農業協同組合の健全経営に寄与した。		
		今後の課題	福島町農業協同組合の経営基盤の強化に向け新規組合員の加入の取組を進めてゆく必要がある。	福島町農業協同組合の経営基盤の強化に向け新規組合員の加入の取組を進めてゆく必要がある。	福島町農業協同組合の経営基盤の強化に向け新規組合員の加入の取組を進めてゆく必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	福島町農業協同組合員の加入人数(単位:人)			
		目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	
		達成率	%	100	100	100	
ハンター人材育成支援事業	産業課 (農林)	実施内容	ベテランのハンターの指導により担い手ハンターの知識及び技術の向上を図る。	なし	なし		
		進捗・効果	担い手ハンターの知識及び技術の向上を図られた。	なし	なし		
		今後の課題	有害鳥獣の増加により今後もハンターの育成が必要である。	なし	なし		
		指標1	基準値(H27)	ハンター人材育成支援人数(単位:人)			
		目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	0	0	
		達成率	%	100	0	0	

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人財育成)

【項目】 林業

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
公費造林事業	産業課 (農林)	実施内容	民有林の整備	民有林の整備	民有林の整備	
		進捗・効果	植栽 1.88㍎	造林 0.88㍎、保育 20.28㍎、下刈り 17.67㍎、森林作業道 350m	造林 1.4㍎、間伐 19.44㍎、保育 3.56㍎、下刈り 7.95㍎、枝打ち 1.36㍎	
		今後の課題	民間林の事業実施少なく、制度の周知等による事業の掘起しが必要である。	民間林の事業実施少なく、制度の周知等による事業の掘起しが必要である。	民間林の事業実施少なく、制度の周知等による事業の掘起しが必要である。	
		指標1 基準値(H27)	公費造林事業の実施件数(単位:件)			
		目標	3	3	3	3
		実績	1	2	1	2
		達成率	%	67	33	67
町有林造成事業	産業課 (農林)	実施内容	間伐材生産及び路網整備等の実施	間伐材生産及び路網整備等の実施	間伐材生産及び路網整備等の実施	
		進捗・効果	伐倒・集材等面積 12ha 搬出材積 794m ³	伐倒・集材等面積 3ha 搬出材積 187m ³	伐倒・集材等面積 3ha 搬出材積 187m ³	
		今後の課題	町有林の把握及び伐期を迎えた迎えた樹木の適正管理が必要。	町有林の把握及び伐期を迎えた迎えた樹木の適正管理が必要。	町有林の把握及び伐期を迎えた迎えた樹木の適正管理が必要。	
		指標1 基準値(H27)	町有林整備面積(単位:ha)			
		目標	20	20	20	20
		実績	12	12	12	12
		達成率	%	60	60	60
林業専用道整備事業	産業課 (農林)	実施内容	林業専用道三枚橋線開設事業(測量・工事)	林業専用道三枚橋線開設事業(測量・工事)	林業専用道三枚橋線開設事業(測量・工事)	
		進捗・効果	林業専用道三枚橋線開設工事 L=520m	林業専用道福島線開設工事 L=400m	林業専用道松倉線開設工事 L=570m	
		今後の課題	維持補修等の整備が必要となる。	維持補修等の整備が必要となる。	維持補修等の整備が必要となる。	
		指標1 基準値(H27)	林業専用道開設路線数(単位:本)			
		目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1
		達成率	%	100	100	100
森林組合活動総合調整事業	産業課 (農林)	実施内容	福島町森林組合の経営調査及び指導(臨時職員1名)	福島町森林組合の経営調査及び指導(臨時職員1名)		
		進捗・効果	経営調査等にかかる職員の指導により福島町森林組合の未収金の欠損処理等の事務処理が適正に遂行された。	経営調査等にかかる職員の指導により福島町森林組合の未収金の欠損処理等の事務処理が適正に遂行された。		
		今後の課題	関係機関等と連携を取り適正な経営に向けての経営改善等を進める必要がある。	関係機関等と連携を取り適正な経営に向けての経営改善等を進める必要がある。		
		指標1 基準値(H27)	経営状況調査員数(単位:人)			
		目標	1	1	1	
		実績	1	1	1	
		達成率	%	100	100	
広域基幹林道島前線改良事業	産業課 (農林)	実施内容			基幹林道島前線の改良	
		進捗・効果			白符工区の測量設計実施	
		今後の課題			北海道に対し計画どおりの実施を要請する。	
		指標1 基準値(H27)	広域林道改良箇所数			
		目標	-			1
		実績	-			1
		達成率	%			100

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人財育成)

【項目】 林業

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
森林情報システム整備事業	産業課 (農林)	実施内容			森林情報システム及びGPS機器の導入		
		進捗・効果			GPS機器導入による森林調査における作業の軽減		
		今後の課題			システムデータの管理		
		指標1	基準値(H27)	町有林整備事業面積(ha)			
		目標	-			16	
		実績	-			12	
		達成率	%			75	
林道橋梁点検調査事業	産業課 (農林)	実施内容			基幹林道兵舞線における橋梁2橋の予防保全に係る点検		
		進捗・効果			橋梁の状況把握と緊急での修繕の必要はないことの把握		
		今後の課題			今後の補修実施についての財源対策		
		指標1	基準値(H27)	林道橋梁点検調査・改修箇所数			
		目標	-			2	
		実績	-			2	
		達成率	%			100	

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人財育成)

【項目】 商工業、地場産品

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
福島町が んばる地元 企業等応援 事業	企画課	実施内容		施設投資助成金119件、助成額138,523千円、外国人技能実習生受入助成金4事業所29人、助成額8,700千円	施設投資111件138,288千円、用奨励3件10,423千円、特別雇用奨励1事業所2人2,000千円、外国人技能実習生受入4事業所31人9,300千円	
		進捗・効果		施設投資額379,607千円のうち、町内経済循環額は142,849千円と助成額を上回っている。投資による事業の継続、雇用の場の確保、町内経済の活性化が図られる。	施設投資額361,842千円のうち、町内経済循環額は140,509千円と助成額を上回っている。投資による事業の継続、雇用の場の確保、町内経済の活性化が図られる。	
		今後の課題		投資総額の38%が町内経済循環分で、この割合を高める工夫が必要であるが、町外業者でなければ購入できないものもある。助成対象施設の適切な表示の徹底。財源の確保。	投資総額の町内経済循環分の割合を高める工夫が必要。財源の確保。平成32年度事業実施に向けた制度の見直し。	
		指標1 基準値(H27)	補助金交付金額(単位:円)			
	目標	-		50,000	50,000	
	実績	-		147,223	160,011	
	達成率	%		294	320	
商工会支 援事業	産業課 (商工観光)	実施内容	商工会経営改善普及事業に係る補助	商工会経営改善普及事業に係る補助	商工会経営改善普及事業に係る補助	
		進捗・効果	商工業者の経営改善が図られた。	商工業者の経営改善が図られた。	商工業者の経営改善が図られた。	
		今後の課題	商工業者の安定した経営のために、引き続き支援が必要。	商工業者の安定した経営のために、引き続き支援が必要。	商工業者の安定した経営のために、引き続き支援が必要。	
		指標1 基準値(H27)	商工会組織率(単位:%)			
	目標	67.0	68.0	68.0	68.0	
	実績	65.0	69.0	69.4	69.1	
	達成率	%	101	102	102	
地域経済 消費拡大 活性化事業	産業課 (商工観光)	実施内容	町内経済の極端な低迷を解消するためのプレミアム付商品券発行事業に対する補助	町内経済の極端な低迷を解消するためのプレミアム付商品券発行事業に対する補助	町内経済の極端な低迷を解消するためのプレミアム付商品券発行事業に対する補助	
		進捗・効果	町内経済の活性化が図られた。	町内経済の活性化が図られた。	町内経済の活性化が図られた。	
		今後の課題	継続した実施が必要である。	継続した実施が必要である。	継続した実施が必要である。	
		指標1 基準値(H27)	発行数(単位:組)			
	目標	5,000	7,000	3,000	3,000	
	実績	3,000	7,100	3,000	3,000	
	達成率	%	101	100	100	
企業振興 支援事業	産業課 (商工観光)	実施内容	町内企業等への「施設投資」、「雇用奨励」及び「外国人技能実習生受入」に対する補助	条例が平成29年3月31日までの時限となっているため、実施実績はありません。		
		進捗・効果	町内企業等の振興促進が図られた。	条例が平成29年3月31日までの時限となっているため、実施実績はありません。		
		今後の課題	企業及び個人がより利用しやすい補助制度にする必要がある。	条例が平成29年3月31日までの時限となっているため、実施実績はありません。		
		指標1 基準値(H27)	補助金交付金額(単位:千円)			
	目標	100,000	94,800	5,200		
	実績	60,594	23,446	0		
	達成率	%	25	0		

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】観光・交流

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
地域おこし協力隊事業	企画課	実施内容	①観光全般の推進②営農に向けた活動③まちづくりを主体的に進める法人の設立に向けた取り組み、を進めた。	①観光全般の推進②営農に向けた活動③まちづくりを主体的に進める法人に対する支援	①観光全般の推進②横綱の里づくりの推進		
		進捗・効果	・商工観光1名(2名)・農林1名・企画1名採用した。11/1付けで法人が設立され、H29年度からの本格的な事業展開に向け、準備を開始。	・商工観光2名(4/1付1名、6/22付1名)、農林1名(9/未離任)を採用した。観光メニュー(岩部海岸クルーズ事業)の確立に向けたモニタリングツアー等を実施。	・商工観光2名(うち1名は5月末で離)、生涯学習1名を採用した。		
		今後の課題	任期満了後の定住対策として、観光協会の独立運営化の検討が必要である。	任期満了後の定住対策として、観光協会の独立運営化の検討が必要である。	任期満了後の定住に向けた支援体制の確立。		
		指標1	基準値(H27)	隊員数(単位:人)			
		目標		3	4	3	3
		実績		3	3	3	3
		達成率	%		75	100	100
三町連携による地域魅力発信事業	企画課	実施内容		三町連携ポスター、パンフレット作成、ふるさと回帰支援センターブース借り上げ、セミナー開催(1回)	三町連携ポスター、パンフレット作成、ふるさと回帰支援センターブース借り上げ、セミナー開催(2回)		
		進捗・効果		ふるさと回帰センターにおいて移住セミナーを開催。移住を本気で考えている方に対し町の情報を発信することができた。	ふるさと回帰センターにおいて移住セミナーを開催。移住を考えている方に対して町の情報を発信することができた。		
		今後の課題		福島町の認知度向上。ソフト・ハード両面の受入態勢の整備が必要。	福島町の認知度向上。ソフト・ハード両面の受入態勢の整備が必要。		
		指標1	基準値(H27)	地域の魅力発信回数			
		目標		-		1	2
		実績		-		1	2
		達成率	%			100	100
岩部地区交流センター整備事業	企画課	実施内容			岩部生活改善センターの解体、岩部地区交流センターの整備		
		進捗・効果			おおむね計画どおり事業が完了した。観光客の休憩所、地域住民の集会機能を併せ持つ施設の整備により集落機能の維持及び活性化が期待される。		
		今後の課題			自然を活用した体験観光メニューの確立・適正な管理により維持管理に要する費用の縮減		
		指標1	基準値(H27)	整備施設数(単位:施設)			
		目標		-			1
		実績		-			1
		達成率	%				100
道の駅整備調査検討事業	企画課	実施内容			策定委員会を4回開催		
		進捗・効果			現在の道の駅の課題を共有したうえで、道の駅に求められる機能や利用可能な資源、立地場所などについて検討が進められた。		
		今後の課題			見るもの、買うもの、食べるものの提供、道の駅の運営体制の確立・施設整備に係る財源の確保。		
		指標1	基準値(H27)	ワーキング検討会議(単位:回)			
		目標		-			5
		実績		-			4
		達成率	%				80

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】 観光・交流

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
横綱の里づくり事業	産業課 (商工観光)	実施内容	「千代の富士杯争奪相撲大会」、わんぱく相撲大会」及び「九重部屋夏合宿」の実施	「千代の富士杯争奪相撲大会」、「わんぱく相撲大会」及び「九重部屋夏合宿」の実施	「わんぱく相撲大会」及び「九重部屋夏合宿」の実施		
		進捗・効果	事業の実施に伴い、「横綱の里」のPRが図られた。	事業の実施に伴い、「横綱の里」のPRが図られた。	わんぱく相撲の開催により、横綱の里としてのPRが図られたが、九重部屋夏合宿が中止となり、観光客の入込数が大幅に減少した。		
		今後の課題	平成29年度に横綱記念館が20周年を迎えることから、これを期に更なる展開が必要である。	横綱記念館が20周年を迎えたが、今後「横綱の里」のPRに更なる展開が必要である。	九重部屋合宿の実施に向け、調整を進める必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	夏合宿開催中横綱記念館入込数(単位:人)			
		目標	157	170	170	170	
		実績	150	5,568	241	0	
		達成率	%	3,275	142	0	
観光協会支援事業	産業課 (商工観光)	実施内容	観光協会に対する事業費の補助	観光協会に対する事業費の補助	観光協会に対する事業費の補助		
		進捗・効果	女相撲大会をはじめ各種事業において、例年以上の集客が図られた。	女相撲大会をはじめ各種事業において、集客が図られた。	女相撲大会をはじめ各種事業において、集客が図られた。		
		今後の課題	観光事業の主体となる団体のため、引き続き支援が必要である。	観光事業の主体となる団体のため、引き続き支援が必要である。	観光事業の主体となる団体のため、事業拡大に向け、更なる支援が必要である。		
		指標1	基準値(H27)	イベント入込数(単位:人)			
		目標	8,000	9,000	9,000	9,000	
		実績	8,000	9,350	5,500	5,500	
		達成率	%	104	61	61	
観光資料作成事業	産業課 (商工観光)	実施内容	観光パンフレット作成に係る印刷製本費				
		進捗・効果	パンフレットのリニューアルに伴い、新たな観光施設やイベントの周知が図られた。				
		今後の課題	より、集客が図られる内容の検討が必要である。				
		指標1	基準値(H27)	パンフレット増刷数(単位:部)			
		目標	-	30,000			
		実績	-	30,000			
		達成率	%	100			
青函トンネル記念館映像展示整備事業	産業課 (商工観光)	実施内容	青函トンネル記念館シアター室の映像更新をはじめとした展示物のリニューアル				
		進捗・効果	冬期休館中にリニューアルを終えたため、効果はなし。				
		今後の課題	周知活動の強化を図る必要がある。				
		指標1	基準値(H27)	トンネル記念館入込数(単位:人)			
		目標	8,500	9,000			
		実績	11,454	9,864			
		達成率	%	110			
観光関連施設解体事業	産業課 (商工観光)	実施内容			岩部海の家老朽化が著しいため、取り壊しを実施。		
		進捗・効果			解体が完了し、景観の保全にも繋がった。		
		今後の課題			老朽化が進んでいる他の施設においても、解体等を検討する必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	老朽化した観光施設の解体			
		目標	-			1	
		実績	-			1	
		達成率	%			100	

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】観光・交流

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
観光案内看板等整備事業	産業課 (商工観光)	実施内容	千軒地区への観光案内看板を設置	青函トンネル記念館へ観光案内看板を設置			
		進捗・効果	設置に伴い、PRの効果及び、旅行者への名所案内の効果を図られた。	設置に伴い、PRの効果及び旅行者への名所案内の効果を図られた。			
		今後の課題	看板が千軒地区の大きな目印になるため、千軒地域活性化実行委員会と連携した事業展開を図る必要がある。	千軒地区に続き、青函トンネル記念館の大きな目印となるため、各施設、団体と連携した事業展開を図る必要がある。			
		指標1 基準値(H27)	観光客入込数(単位:人)				
		目標	70,500	75,000	80,000		
		実績	70,500	74,933	65,383		
		達成率	%	100	82		
両記念館外部サイン等企画プラン作成事業	産業課 (商工観光)	実施内容	両記念館リニューアルプランの作成に係る委託料				
		進捗・効果	トリックアートをを用いた斬新的なプランが完成。				
		今後の課題	計画を実行する財源の確保が必要である。				
		指標1 基準値(H27)	対象施設数(単位:施設)				
		目標	-	2			
		実績	-	2			
		達成率	%	100			
伊能忠敬記念公園整備事業	産業課 (商工観光)	実施内容		伊能忠敬北海道測量開始が吉岡よりはじめられた歴史的偉大な功績を後世に伝えるため、吉岡漁港敷地内に公園を整備する。	伊能忠敬北海道測量開始記念公園完成により除幕式及び関係イベントを開催する。		
		進捗・効果		公園を整備することにより、歴史的偉業を町内外にPRすることが出来、教育面だけではなく、観光面としても新たなスポットとなる。	公園の完成により、歴史的偉業を町内外にPRすることが出来、教育面だけではなく、観光面としても新たなスポットとなっている。		
		今後の課題		町内外にPRするため、新たなイベント等を実施し、広く周知する必要がある。	ホームページなどにより町内外へ積極的なPRをする必要がある。		
		指標1 基準値(H27)	整備件数・イベント開催件数(単位:件)				
		目標	-		1	2	
		実績	-		1	1	
		達成率	%		100	50	
歴史探訪地域活性化事業	産業課 (商工観光)	実施内容		千軒地域では地域の歴史や素材を生かした様々なイベントを実施していることから、行政が支援し、イベントのレベルアップを行う。	千軒地域では地域の歴史や素材を生かした様々なイベントを実施していることから、行政が支援し、イベントのレベルアップを行う。		
		進捗・効果		殿様街道ウォークをはじめ、様々なイベントにより千軒地区の魅力を町内外にPRする。	殿様街道ウォークをはじめ、様々なイベントにより千軒地区の魅力を町内外にPRする。		
		今後の課題		より多くの人に千軒地区の魅力を知ってもらい、各種イベントに参加してもらえるよう更なるPRの実施が必要である。	より多くの人に千軒地区の魅力を知ってもらい、各種イベントに参加してもらえるよう更なるPRの実施が必要である。		
		指標1 基準値(H27)	参加者数(単位:人)				
		目標	-		100	105	
		実績	-		110	50	
		達成率	%		110	48	
		指標2 基準値(H27)	来場者数(単位:人)				
		目標	-		1,100	1,200	
		実績	-		900	0	
達成率	%		82	0			

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】観光・交流

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
横綱記念館20周年記念事業	産業課 (商工観光)	実施内容		横綱記念館が開館20周年を迎え、これを機に町民が一丸となり「横綱の里」づくりの意識を高め、横綱記念館の入館者の減少を止める。		
		進捗・効果		町民が一丸となり実施することにより、「横綱の里ふくしま」を再認識し、更には町外へも魅力を発信することが出来る。		
		今後の課題		これから30周年までの10年間において、継続した事業効果が図られるため、更なるPRが必要です。		
	指標1	基準値(H27)	入館者数(単位:人)			
	目標	-		2,000		
	実績	-		9,579		
	達成率	%		479		
福島町岩部海岸わくわくクルーズ事業	産業課 (商工観光)	実施内容			クルーズ船購入、岩部クルーズ運航等事業により交流人口の増加を図る。	
		進捗・効果			クルーズ船購入や岩部クルーズ運航航路の決定等により、平成31年度からの本格運行に向けた取り組みを実施した。	
		今後の課題			本格運行に向け、町内外への積極的なPRにより、交流人口の増加を図ることが必要である。	
	指標1	基準値(H27)	観光客入込数(単位:人)			
	目標	-			70,000	
	実績	-			100	
	達成率	%			0	
ラジオ公開番組事業	産業課 (商工観光)	実施内容			HBCラジオ公開収録を実施し、福島町の魅力を広くPRする。	
		進捗・効果			敬老会と同時開催し、参加者にも好評であり、福島町の魅力を広くPRすることが出来た。	
		今後の課題			引き続き、町内外に発信する効果的な手法を検討する必要がある。	
	指標1	基準値(H27)	観光客入込数(単位:人)			
	目標	-			80,000	
	実績	-			80,176	
	達成率	%			100	

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

【項目】産業創造と雇用労働対策

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
福島町産業活性化サポート事業	企画課	実施内容	①サポート事業1件②起業化事業1件、に対し助成を行った。	サポート事業1件に対し助成を行った。	サポート事業1件に対し助成を行った。		
		進捗・効果	①漁協青年部が行った先進地視察で培った知識を地元で実施された即売会等で実践。②主体的にまちづくりを進める民間組織が設立された。	これまでは事業所毎に「िकास海峡するめ」のパッケージを作製し販売していたが、福島水産加工協同組合としてパッケージを作製し、ブランドの統一化が図られた。	漁業者自ら、マグロの資源管理制度についての理解が深められた。		
		今後の課題	①水産分野における新商品の開発、ブランド化への取り組みが期待される。②法人の経営安定化を図り、観光メニューの開発、雇用増による活性化が期待される。	原料の確保はもとより、消費者ニーズに対応した「小袋商品」などの開発が期待される。	地元漁業者に対して資源管理制度の内容を周知・徹底することで、マグロ漁業の持続的な経営を図るとともに観光資源としての「海峡マグロ」の維持		
		指標1	基準値(H27)	補助件数(単位:件)			
		目標	2	2	2	2	
		実績	2	2	1	1	
達成率	%	100	50	50			
産学官連携産業活性化事業	企画課	実施内容	①東京農業大学による小中高生を対象とした出前講座(延5回)の実施。②はこだて未来大、北大による前浜資源の分布状況等の調査研究を実施。	①東京農業大学による小中高生を対象とした出前講座(延4回)の実施。②はこだて未来大によるアワビ陸上養殖における測定作業の軽減のための調査研究を実施。	①東京農業大学による小中高生を対象とした出前講座(延4回)の実施。②はこだて未来大によるアワビ陸上養殖における測定作業の軽減のための調査研究を実施。		
		進捗・効果	①小中高生への出前講座で考える力を育て、情操豊かな人間形成に資することができた。②前浜資源の資源分布図データが蓄積された。	①小中高生へに出前講座で考える力を育て、情操豊かな人間形成に資することができた。②水槽内のアワビを画像処理で測定する方法の確立に向けた準備が進められた。	①小中高生へに出前講座で考える力を育て、情操豊かな人間形成に資することができた。②水槽内のアワビを画像処理で測定する方法の確立に向けた準備が進められた。		
		今後の課題	蓄積されたデータを活用し、漁業者の作業時間の軽減及び経営安定を図る必要がある。	画像処理による測定方法の確立により、アワビ陸上養殖におけるコスト削減に寄与することが期待される。	画像処理による測定方法の確立により、アワビ陸上養殖におけるコスト削減に寄与することが期待される。		
		指標1	基準値(H27)	出前講座開催回数(単位:回)			
		目標	5	5	5	5	
		実績	5	5	4	4	
達成率	%	100	80	80			
人材育成・人材確保対策事業	企画課	実施内容	農林水産業担い手支援・養成	農林水産業担い手支援・養成	農林水産業担い手支援・養成		
		進捗・効果	3名の担い手に対する支援(漁業者2名、農業者1名)により後継者等が確保された。	8名の担い手に対する支援(漁業者6名、農業者2名)により後継者等が確保された。	2名の担い手に対する支援(漁業者1名、農業者1名)により後継者等が確保された。		
		今後の課題	生活基盤を確立させ、支援終了後も定住を促し町の産業振興に貢献する人材の育成・確保	生活基盤を確立させ、支援終了後も定住を促し町の産業振興に貢献する人材の育成・確保	生活基盤を確立させ、支援終了後も定住を促し町の産業振興に貢献する人材の育成・確保		
		指標1	基準値(H27)	補助件数(単位:件)※漁業就労奨励金等			
		目標	6	6	6	6	
		実績	6	2	6	1	
達成率	%	33	100	17			
人材育成基金事業	企画課	実施内容	人材育成基金の造成	人材育成基金の造成	人材育成基金の造成		
		進捗・効果	人材育成を中長期的に実施するため、安定財源の確保が図られた。	人材育成を中長期的に実施するため、安定財源の確保が図られた。	人材育成を中長期的に実施するため、安定財源の確保が図られた。		
		今後の課題	幅広く制度の活用が可能となるよう周知に努める。	幅広く制度の活用が可能となるよう周知に努める。	幅広く制度の活用が可能となるよう周知に努める。		
		指標1	基準値(H27)	基金積立額(単位:千円)			
		目標	-	50,000	20,000	20,000	
		実績	-	47,000	20,000	20,000	
達成率	%	94	100	100			

【基本方向】産業再生による雇用創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人財育成)

【項目】産業創造と雇用労働対策

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
新・地域再生マネージャー事業費	企画課	実施内容	外部人材3名招聘し、まちづくり法人設立を設立する。				
		進捗・効果	まちづくりを担う法人の設立により地域の活性化・雇用の場の確保による若者の定住を促進する体制が整った。				
		今後の課題	法人の体制・経営基盤の安定によるビジネス事業の展開。				
		指標1	基準値(H27)	外部人材招聘回数(単位:回)			
		目標	-	16			
		実績	-	16			
		達成率	%	100			
人財育成支援事業	企画課	実施内容	産業を中心に将来を担うあらゆる分野のリーダー等の育成を図るため、資格取得や講習・研修参加費用の一部を助成	産業を中心に将来を担うあらゆる分野のリーダー等の育成を図るため、資格取得や講習・研修参加費用の一部を助成	産業を中心に将来を担うあらゆる分野のリーダー等の育成を図るため、資格取得や講習・研修参加費用の一部を助成		
		進捗・効果	105件(104個人・1団体)に助成金を交付。建設業・林業・漁業・商工業・福祉・教育分野など幅広い分野において人財育成が図られた。	130件(125個人・5団体)に助成金を交付。建設業・林業・漁業・商工業・福祉・教育分野など幅広い分野において人財育成が図られた。	116件(107個人・9団体)に助成金を交付。建設業・林業・漁業・商工業・福祉・教育分野など幅広い分野において人財育成が図られた。		
		今後の課題	人材育成を中長期的に実施するための安定財源の確保。町民や事業者が求めるニーズへの対応。	人材育成を中長期的に実施するための安定財源の確保。町民や事業者が求めるニーズへの対応。	人材育成を中長期的に実施するための安定財源の確保。町民や事業者が求めるニーズへの対応。		
		指標1	基準値(H27)	資格取得のための受験者数(単位:人)			
		目標	-	104	104	104	
		実績	-	105	130	116	
		達成率	%	101	125	112	

【基本方向】町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

【項目】 保健予防、健康づくり

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
いきいき健康 ふくしま21推 進事業	福祉課	実施内容	健康カレンダーの作成 (各戸配布)、運動教室の 開催(3回)	健康カレンダーの作成 (各戸配布)、運動教室の 開催(3回)	健康カレンダーの作成 (各戸配布)、運動教室の 開催(3回)		
		進捗・効果	健康に対する意識の向上 が図られた。	健康に対する意識の向上 が図られた。	健康に対する意識の向上 が図られた。		
		今後の課題	健康カレンダーの利便性 の向上(レイアウト)	健康カレンダーの利便性 の向上(レイアウト)	健康カレンダーの利便性 の向上(レイアウト)		
		指標1	基準値(H27)	健康カレンダーの配布数(単位:世帯)			
		目標	2,400	2,400	2,400	2,400	
		実績	2,446	2,408	2,264	2,117	
		達成率	%	100	94	88	
がん検診推 進事業	福祉課	実施内容	各種がん検診の実施 (胃、肺、大腸、乳、子 宮、前立腺)平成28年度 より無料化した	各種がん検診(無料)の 実施(胃、肺、大腸、乳、 子宮、前立腺)	各種がん検診(無料)の 実施(胃、肺、大腸、乳、 子宮、前立腺)		
		進捗・効果	無料化したことにより受診 人数は増加した。	無料化前に比べ受診人 数は増加した(前年比は 減)	無料化前に比べ受診人 数は増加した。		
		今後の課題	職場におけるがん検診受 診者数の把握、受診勧奨 及び受診しやすい環境づ くり。	職場におけるがん検診受 診者数の把握、さらなる 受診勧奨及び受診しや すい環境づくり。	職場におけるがん検診受 診者数の把握、さらなる 受診勧奨及び受診しや すい環境づくり。		
		指標1	基準値(H27)	胃がん検診受診者数(単位:人)			
		目標	385	385	385	385	
		実績	105	231	179	237	
		達成率	%	60	46	62	
		指標2	基準値(H27)	肺がん検診受診者数(単位:人)			
		目標	440	440	440	440	
		実績	329	359	302	376	
達成率	%	82	69	85			
吉岡温泉改 修事業	福祉課	実施内容	吉岡温泉露天風呂改修 (深さ66cm→60cm、手す り設置)及び風除室の設 置	吉岡温泉打たせ湯用ろ 過装置破損、修繕不能に より取替え	深井戸水中モーターポン プ入替え		
		進捗・効果	利用者の安全面の向上 及び湯量の削減が図られ た。	利用者の安全面の向上 が図られた。	利用者の安全面の向上 が図られた。		
		今後の課題	施設の老朽化により今後 も設備更新が必要になる と思われる。	施設の老朽化により今後 も設備更新が必要であ る。	施設の老朽化により今後 も設備更新が必要であ る。		
		指標1	基準値(H27)	利用者数(単位:人)			
		目標	67,000	68,000	67,000	66,000	
		実績	65,992	67,491	65,865	65,120	
		達成率	%	99	98	99	

【基本方向】町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

【項目】 地域医療

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
在宅歯科診療設備整備事業	福祉課	実施内容	在宅歯科診療器具(ポータブルユニット一式ほか)の購入、医歯会への無償貸与				
		進捗・効果	通院困難な高齢者等の歯科診療が可能となり医療福祉の充実が図られた。				
		今後の課題	特になし。				
		指標1	基準値(H27)	在宅歯科診療者数(単位:人)			
		目標	-	100			
		実績	-	20			
達成率	%	20					
道南ドクターヘリ運航事業	福祉課	実施内容	ドクターヘリ運航に係る運航経費の負担及びランデブーポイントの冬期間の除雪	ドクターヘリ運航に係る運航経費の負担及びランデブーポイントの冬期間の除雪	ドクターヘリ運航に係る運航経費の負担及びランデブーポイントの冬期間の除雪		
		進捗・効果	重症患者の搬送時間の短縮が図られた。	重症患者の搬送時間の短縮が図られた。	重症患者の搬送時間の短縮が図られた。		
		今後の課題	重複要請による未出勤が増えており対策が必要。	重複要請による未出勤が増えており対策が必要。	重複要請のほか、日没時間制限・天候不良による未出勤について対策が必要。		
		指標1	基準値(H27)	年間出勤件数(単位:件)			
		目標	11	12	13	13	
		実績	8	4	13	8	
達成率	%	33	100	62			
町立診療所整備事業	福祉課	実施内容			既存医院施設改修工事、医療機器購入、医師用住宅建設工事		
		進捗・効果			医療福祉の充実が図られた。		
		今後の課題			見込んでいた患者数・診療報酬収入に至っていないため、対策が必要。		
		指標1	基準値(H27)	開院月数(単位:月)			
		目標	-			7	
		実績	-			10	
達成率	%			143			

【基本方向】町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

【項目】 地域福祉

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
冬の生活支援事業	町民課	実施内容	冬の生活支援事業システム構築冬期間の増嵩経費助成	冬の生活支援金冬期間の増嵩経費助成	冬の生活支援金冬期間の増嵩経費助成		
		進捗・効果	経済的支援をすることにより生活の安定向上が図れた。	経済的支援をすることにより生活の安定向上が図れた。	経済的支援をすることにより生活の安定向上が図れた。		
		今後の課題	支援金の使用用途アンケートの実施。	特になし。	特になし。		
		指標1	基準値(H27)	補助件数(単位:件)			
		目標	485	485	485	485	
		実績	0	396	408	397	
		達成率	%	82	84	82	
高齢者等屋根の雪下し費用助成事業	町民課	実施内容	屋根の雪下し費用助成13件	屋根の雪下し除排雪助成43件	屋根の雪下し除排雪助成34件		
		進捗・効果	低所得高齢者等、支援を要する世帯に対し経済的負担の軽減と福祉の向上が図れた。	低所得高齢者等、支援を要する世帯に対し経済的負担の軽減と福祉の向上が図れた。	低所得高齢者等、支援を要する世帯に対し経済的負担の軽減と福祉の向上が図れた。		
		今後の課題	制度の周知の改善や利用率向上のため補助率の拡大も検討。	申請書の簡素化や利用率向上のため補助率の拡大の検討。	制度の周知、利用向上を進める。		
		指標1	基準値(H27)	補助件数(単位:件)			
		目標	50	50	50	50	
		実績	0	13	43	34	
		達成率	%	26	86	68	

【基本方向】町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

【項目】高齢者の福祉

事業名	担当課	実施検証						
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
安心生活創造事業	福祉課	実施内容	70歳以上の独り暮らし及び高齢者夫婦世帯の支援台帳整備、安心サポート電話による安否確認	70歳以上の独り暮らし及び高齢者夫婦世帯の支援台帳整備、安心サポート電話による安否確認	70歳以上の独り暮らし及び高齢者夫婦世帯の支援台帳整備、安心サポート電話による安否確認			
		進捗・効果	年3回の調査により台帳を整備し、把握した情報を役場、社協、消防署で共有し、地域で安心して生活できる支援体制を構築した。	年3回の調査により台帳を整備し、把握した情報を役場、社協、消防署で共有し、地域で安心して生活できる支援体制を構築した。	年3回の調査により台帳を整備し、把握した情報を役場、社協、消防署で共有し、地域で安心して生活できる支援体制を構築した。			
		今後の課題	民生委員や町内会へのデータ開示、災害時における要援護者支援台帳整備及び福祉避難所の設置	民生委員や町内会へのデータ開示、災害時における要援護者支援台帳整備及び福祉避難所の設置	民生委員や町内会へのデータ開示、災害時における要援護者支援台帳整備及び福祉避難所の設置			
		指標1 基準値(H27)	見守り対象者数(単位:人)					
		目標	1,000	1,000	1,000	1,000		
		実績	714	664	719	1,051		
		達成率	%	66	72	105		
		指標2 基準値(H27)	見守り台帳登録者(単位:人)					
		目標	700	700	700	700		
		実績	661	629	710	728		
		達成率	%	90	101	104		
		老人福祉施設整備事業(特養)	福祉課	実施内容	特別養護老人ホーム陽光園の厨房施設増築及び器具購入に係る補助(補助率3/4以内)		特別養護老人ホーム陽光園の一般浴室・脱衣室・特殊浴室改修及びボイラー更新、屋根葺き替えに係る補助(補助率3/4以内)	
				進捗・効果	厨房の増築及び機器を更新したことにより、入居者のサービスの向上が図られた。		一般浴室等の改修及びボイラー更新、また屋根を葺き替えたことにより、入居者のサービスの向上が図られた。	
今後の課題	今後の方向性については現時点では改修の方向で検討しており、陽光園に対しては改修計画を提出するよう依頼済である。				今後の施設等整備事業についても内容を審査し総合計画に登載する。			
指標1 基準値(H27)	施設入所定員(単位:人)							
目標	50			50	50	50		
実績	50	50	50	50				
達成率	%	100						
老人福祉施設整備事業(デイ)	福祉課	実施内容		特別養護老人ホーム陽光園デイサービスセンターのスプリンクラー設置に係る補助(補助率3/4以内)	特別養護老人ホーム陽光園デイサービスセンターの屋根葺き替え工事に係る補助(補助率3/4以内)			
		進捗・効果		スプリンクラー設置により、入居者の利便性安全性の向上が図られた。	屋根葺き替え工事の実施により、入居者の利便性安全性の向上が図られた。			
		今後の課題		今後の施設等整備事業についても内容を審査し総合計画に登載する。	今後の施設等整備事業についても内容を審査し総合計画に登載する。			
		指標1 基準値(H27)	デイサービス利用定員(単位:人)					
		目標	20		20	20		
実績	0		20	20				
達成率	%		100	100				
老人福祉施設整備事業(ショート)	福祉課	実施内容		特別養護老人ホーム陽光園ショートステイ施設のスプリンクラー設置に係る補助(補助率3/4以内国庫補助分除く)				
		進捗・効果		スプリンクラー設置により入所者の利便性安全性の向上が図られた。				
		今後の課題		今後の施設等整備事業についても内容を審査し総合計画に登載する。				
		指標1 基準値(H27)	ショートステイ利用定員(単位:人)					
		目標	10		10			
実績	0		10					
達成率	%		100					

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】土地利用

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
福島町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定事業	建設課	実施内容		都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定(2カ年計画)の内、1年目の作業を行った。	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定(2カ年計画)の内、2年目の作業を行った。	
		進捗・効果		現況整理、住民アンケート、課題の整理、ビジョン及び方針の検討を実施した。	計画の策定を完了した。	
		今後の課題		次年度策定に向けて、街づくり方針の検討、区域設定を行う。	今後、他の計画策定の際は本計画との整合性を図る。	
	指標	基準値(H27)	発注件数			
	目標	-		1	1	
実績	-		1	1		
達成率	%		100	100		

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】公園・緑地、景観、環境美化

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
新緑公園整備事業	建設課	実施内容	新緑公園トイレ建替(RC造延べ床面積33.77㎡)及びフェンス高上げ(L=16.0m W=2.0m)の工事を行った。	遊具、バックネット、フェンスの改築	砂場、フェンスの改築		
		進捗・効果	トイレ建替えて、バリアフリー化及び多目的トイレの設置により利便性が高まった。フェンス高上げにより、公園外への費打球が少なくなった。	老朽化している施設の更新を行うことにより安全性が確保された。	老朽化している施設の更新を行うことにより安全性が確保された。		
		今後の課題	利用者の安全性を考慮した適切な維持管理を行う必要がある。	利用者の安全性を考慮した適切な維持管理を行う必要がある。	利用者の安全性を考慮した適切な維持管理を行う必要がある。		
		指標	基準値(H27)	更新施設数(単位:件)			
		目標	1	2	3	2	
		実績	1	2	3	2	
達成率	%	100	100	100	100		

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】ごみ処理、リサイクル

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
渡島西部衛生センター施設整備事業	渡島西部広域事務組合	実施内容	ゴミ再生処理施設の資源ごみから再資源化された原材料のストックヤード整備				
		進捗・効果	施設の整備により資源のリサイクル体制が整備されたとともに、旧し尿処理施設の解体後の跡地活用が図られた。				
		今後の課題	施設の適切な管理により維持費用の圧縮を図る。				
		指標1	基準値(H27)	解体及び整備施設数(単位:箇所)			
		目標	1	1			
		実績	1	1			
達成率	%	100					

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】水道、排水・し尿処理

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
新平和橋配水管移設事業	建設課(水道)	実施内容	次年度施工の新設工事について実施設計を行い、既設管(橋梁添架管φ200 L=20.5m・铸铁管φ200 L=5.5m)の撤去工事を行った。	前年度の実施設計を踏まえ、配水管の新設工事(ダクタイル铸铁管φ200 L=15.3m・橋梁添架管φ200 L=23.5m)を行った。		
		進捗・効果	委託により、次年度の施工方法及び工事費が決定した。	工事施工により、安定した水の供給を継続して行うことができる。		
		今後の課題	橋梁工事との工程を協議し、施工時期を確認する。	今後も配水管の維持・管理を徹底して行っていく。		
		指標1 基準値(H27)	水道供給日数(単位:日)			
	目標	366	365	365	365	365
	実績	366	365	365	365	365
	達成率	%	100	100	100	100
老朽配水管更新事業	建設課(水道)	実施内容	町道平和橋1号線(铸铁管φ200 L=329.6m)の配水管取替工事を行った。	町道館崎2号線及び館崎地区(配水用ポリエチレンφ75 L=334.6m・ポリエチレン管φ50 L=1.3m)の配水管取替工事を行った。	国道228号線(三岳峠線)送水管取替工事を実施した。	
		進捗・効果	老朽管を更新し長寿命化を図った。	老朽管を更新し長寿命化を図った。	老朽管を更新し長寿命化を図った。	
		今後の課題	次年度以降も、計画的に更新を行う必要がある。	次年度以降も、計画的に更新を行う必要がある。	今後も送水管の維持・管理を行っていく必要がある。	
		指標1 基準値(H27)	更新率(単位:%)			
	目標	-	11.70	23.50	29.00	29.00
	実績	-	12.00	23.60	29.10	29.10
	達成率	%	103	100	100	100
中央監視施設等更新事業	建設課(水道)	実施内容	役場庁舎、岩部・美山浄水場、三岳ポンプ室、千軒配水池の監視計装設備の更新を行った。			
		進捗・効果	更新工事により、各施設の異状及び状態が著しく向上した。			
		今後の課題	岩部浄水場と役場庁舎との通信が、落石により断線することがある。			
		指標1 基準値(H27)	監視日数(単位:日)			
	目標	366	365			
	実績	366	365			
	達成率	%	100			
水道メーター器改良事業	建設課(水道)	実施内容	水道メーター器(220台)の取替工事を行った。	水道メーター器(148台)の取替工事を行った。	水道メーター器(142台)の取替工事を行った。	
		進捗・効果	使用水量の正確な計測を維持できる。	使用水量の正確な計測を維持できる。	使用水量の正確な計測を維持できる。	
		今後の課題	次年度以降も計量法で定められた、期間を経過した水道メーター器を、計画的に交換・更新する。	次年度以降も計量法で定められた、期間を経過した水道メーター器を、計画的に交換・更新する。	次年度以降も計量法で定められた、期間を経過した水道メーター器を、計画的に交換・更新する。	
		指標1 基準値(H27)	更新台数(単位:台)			
	目標	340	240	185	165	165
	実績	301	220	148	142	142
	達成率	%	92	80	86	86
水道事業経営戦略策定事業	建設課(水道)	実施内容		安定的なサービス提供が可能となるよう、投資・財政計画の策定や経営健全化の取り組み方針の明示を行った。		
		進捗・効果		向こう10年間の経営収支を予測することにより、各施設等の更新計画が立てやすくなった。		
		今後の課題		上水道事業から簡易水道事業へ認可を変更し、補助金や交付税措置の財源確保により、計画的な会計の運営を継続していく必要がある。		
		指標1 基準値(H27)	経営戦略の策定数			
	目標	-		1		
	実績	-		1		
	達成率	%		100		

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】水道、排水・し尿処理

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
福島町水道事業変更認可策定事業	建設課(水道)	実施内容			変更認可申請書を作成し、給水区域拡張及び浄水方法変更を行い、上水から簡水へ変更した。	
		進捗・効果			上水から簡水に変更したことにより、補助金等を活用できるようになり安全な水道水の安定供給ができる。	
		今後の課題			今後も有利な起債及び補助金を活用し持続可能な経営に努める。	
		指標1	基準値(H27)	認可策定数(単位:件)		
	目標	-			1	
	実績	-			1	
達成率	%			100		
町道福島月崎幹線配水管布設事業	建設課(水道)	実施内容			町道福島月崎幹線に配水管新設を実施した。	
		進捗・効果			工事施工により安定した水の供給を継続して行うことができる。	
		今後の課題			今後も配水管の維持管理を行っていく必要がある。	
		指標1	基準値(H27)	事業実施件数		
	目標	-			1	
	実績	-			1	
達成率	%			100		
浄化槽市町村整備推進事業	町民課	実施内容	浄化槽設置 17基	浄化槽設置 10基	浄化槽設置 10基	
		進捗・効果	浄化槽の設置により生活環境の保全向上が図られた。	浄化槽の設置により生活環境の保全向上が図られた。	浄化槽の設置により生活環境の保全向上が図られた。	
		今後の課題	設置希望者の減少	設置希望者の減少 交付金対象設置個数の確保	設置希望者の減少 交付金対象設置個数の確保	
		指標1	基準値(H27)	町管理型浄化槽の設置基数(単位:基)		
	目標	18	18	10	10	
	実績	17	17	10	10	
達成率	%	94	100	100		
浄化槽推進促進事業	町民課	実施内容	水洗化構造工事費補助	水洗化構造工事費補助	水洗化構造工事費補助	
		進捗・効果	水洗化による衛生的な住環境の整備が図れた。	水洗化による衛生的な住環境の整備が図れた。	水洗化による衛生的な住環境の整備が図れた。	
		今後の課題	設置希望者が減少傾向にある。	設置希望者が減少傾向にある。	設置希望者が減少傾向にある。	
		指標1	基準値(H27)	補助件数(単位:件)		
	目標	15	15	10	10	
	実績	15	15	6	8	
達成率	%	100	60	80		

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】道路網

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
各町道舗装補修事業	建設課	実施内容	町道館崎線(L=500m W=4.0m)の舗装工事を行った。	町道平和橋1号線(L=320mW=4.5m)及び町道塩釜2号線(L=47mW=3.0m)の舗装工事を行った。			
		進捗・効果	舗装工事により、路面状況が改善され交通が快適になった。	舗装工事により路面状況が改善され交通が快適になった。			
		今後の課題	舗装状況が悪化している路線があるため、継続して補修が必要である。	舗装状況が悪化している路線があるため、継続して補修が必要である。			
		指標1	基準値(H27)	舗装補修路線本数(単位:本)			
		目標	1	1	2		
		実績	1	1	2		
達成率	%	100	100				
橋梁長寿命化事業	建設課	実施内容	上部、下部1基の取壊しと下部1基設置の工事を行った。	新平和橋の下部1橋の撤去、下部1基上部工の設置を行った。	館崎2号橋の調査設計及び床版の補修を行った。		
		進捗・効果	平成29年度に下部1基と上部の設置を行い完成予定である。	新平和橋架替工事が完成し、通行が安全で快適になった。	補修により橋梁の安全性が確保された。		
		今後の課題	橋梁長寿命化計画により計画的な橋梁修繕を進めていく必要がある。	橋梁長寿命化計画により計画的な橋梁修繕を進めていく必要がある。	平成31年度に館崎2号橋の橋桁の補修を行う。また、橋梁長寿命化計画により計画的な橋梁修繕を進めていく必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	橋梁補修橋梁数(単位:橋)			
		目標	2	1	1	1	
		実績	2	1	1	1	
達成率	%	100	100	100			
町道月崎1号線整備事業	建設課	実施内容	町道月崎1号線(L=103mW=4.5m)の整備工事を行った。				
		進捗・効果	幅員の拡幅及び路面状況の改善により通行が快適になり、避難場所に指定されているニュータウンへの通行も改善された。				
		今後の課題	未施工区間(L=157m)の整備を行う必要がある。				
		指標1	基準値(H27)	施工延長(単位:m)			
		目標	-	103			
		実績	-	103			
達成率	%	100					
観音橋3号橋整備事業	建設課	実施内容	観音橋3号橋(L=6.1m W=5.0m)の橋梁架替工事を行った。				
		進捗・効果	幅員の拡幅により、避難場所に指定されているニュータウンへの通行が改善された。				
		今後の課題	適切な維持管理を行う。				
		指標1	基準値(H27)	架替橋梁数(単位:橋)			
		目標	-	1			
		実績	-	1			
達成率	%	100					
町道吉野館崎線整備事業	建設課	実施内容	町道吉野館崎線(L=34mW=4.6m)の整備を行った。	町道吉野館崎線(L=50mW=4.6m)の整備を行った。			
		進捗・効果	排水施設の更新により、水や土砂の堆積が改善された。また、路面状況が改善され交通が快適になった。	排水施設の更新により、水や土砂の堆積が改善された。また、路面状況が改善され交通が快適になった。			
		今後の課題	引き続き未施工区間の整備を行う必要がある。	引き続き未施工区間の整備を行う必要がある。			
		指標1	基準値(H27)	施工延長(単位:m)			
		目標	90	30	75		
		実績	90	34	50		
達成率	%	113	67				

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】道路網

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
町道みどり町線整備事業	建設課	実施内容		町道みどり町線整備事業の用地買収(A=253m3)を行った。	町道みどり町線整備事業の用地買収(A=90m3)を行った。		
		進捗・効果		道路用地が確保された。	道路用地が確保された。		
		今後の課題		残りの用地買収を行う必要がある。	残りの用地買収を行う必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	用地買収面積(単位:㎡)			
		目標	-		100	90	
		実績	-		253	90	
達成率	%		253	100			
町道月崎団地7号線整備事業	建設課	実施内容	町道月崎団地7号線の用地測量設計及び用地取得を行った。	町道月崎団地7号線(L=103mW=4.0m)の整備を行った。			
		進捗・効果	平成29年度に工事着手及び完成予定。	町道月崎団地7号線整備工事が完成し、通行が安全で快適になった。			
		今後の課題	適切な維持管理を行う。	適切な維持管理を行う。			
		指標1	基準値(H27)	施工箇所数(単位:本)			
		目標	-	1	1		
		実績	-	1	1		
達成率	%	100	100				
橋梁長寿命化計画(橋梁点検)	建設課	実施内容	町が管理している橋梁54橋のうち44橋の点検調査を行った。	町が管理している橋梁54橋のうち10橋の点検調査を行った。			
		進捗・効果	補修・修繕が必要な橋梁を点検調査を行うことにより把握できた。	補修・修繕が必要な橋梁を点検調査を行うことにより把握できた。			
		今後の課題	平成29年度に残り10橋の点検を行い、橋梁長寿命化計画の変更を行う。	適切な維持管理を行う。			
		指標1	基準値(H27)	橋梁点検数(単位:橋)			
		目標	-	44	10		
		実績	-	44	10		
達成率	%	100	100				
町道蝦夷ヶ沢線整備事業	建設課	実施内容		町道蝦夷ヶ沢線の用地測量調査設計を行った。	町道蝦夷ヶ沢線の道路整備を行った。		
		進捗・効果		次年度工事着工に向けての工設計書作成等が進められた。	町道蝦夷ヶ沢線整備事業が完了し、狭隘な道路が改善された。		
		今後の課題		平成30年度に工事着手及び完成である。	適切な維持管理を行う。		
		指標1	基準値(H27)	事業実施件数			
		目標	-		1	1	
		実績	-		1	1	
達成率	%		100	100			
町道福島月崎幹線整備事業	建設課	実施内容		町道福島月崎幹線の用地測量調査設計及び支障物件調査を行った。	町道福島月崎幹線の道路整備(L=103mW=16.0m)を行った。		
		進捗・効果		次年度工事着工に向けての工設計書作成等が進められた。	町道福島月崎幹線が全線開通し、背向屈折状箇所が解消され、交通の安全が確保された。		
		今後の課題		平成30年度に工事着手及び完成予定である。	適切な維持管理を行う。		
		指標1	基準値(H27)	事業実施件数			
		目標	-		2	2	
		実績	-		2	2	
達成率	%		100	100			

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】道路網

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
町道公営住宅線歩道拡幅事業	建設課	実施内容		町道公営住宅線の用地測量調査設計を行った。	町道公営住宅線の歩道拡幅工事(L=163m)を行った。	
		進捗・効果		次年度工事着工に向けての工事設計書作成等が進められた。	歩道が拡幅され、児童生徒等の歩行者の通行の安全が図られた。	
		今後の課題		平成30年度に工事着手、平成31年度に完成予定である。	平成31年度に完成予定である。	
		指標1	基準値(H27)	事業実施件数		
	目標	-		1	1	
	実績	-		1	1	
	達成率	%		100	100	
福島町現況図デジタル化整備事業	建設課	実施内容			福島町現況図のデジタル化を行う。	
		進捗・効果			福島町現況図のデジタル化により様々なことに活用できるようになった。	
		今後の課題			道路や建物の更新を行う必要がある。	
		指標1	基準値(H27)	事業実施件数		
	目標	-			1	
	実績	-			1	
	達成率	%			100	

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】公共交通、情報通信

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
地域公共交通確保維持改善事業	企画課	実施内容	交通空白地帯及び交通弱者の移動手段の確保を図るため、デマンドバスを運行	交通空白地帯及び交通弱者の移動手段の確保を図るため、デマンドバスを運行	交通空白地帯及び交通弱者の移動手段の確保を図るため、デマンドバスを運行	
		進捗・効果	交通空白地帯の解消、高齢者等交通弱者の外出意欲の向上が図られている。利用者数は順調に伸びており、利用者の評判も好評となっている。	交通空白地帯の解消、高齢者等交通弱者の外出意欲の向上が図られている。利用者数は順調に伸びており、利用者の評判も好評となっている。	交通空白地帯の解消、高齢者等交通弱者の外出意欲の向上が図られている。利用者数は天候の影響もあり減少しているが、利用者の評判も好評となっている。	
		今後の課題	デマンドバスの利用は好調であるが、一方で路線バス・タクシーの利用が減少傾向にあるため、地域公共交通全体の利用促進を図る必要がある。	デマンドバスの利用は好調であるが、一方で路線バス・タクシーの利用が減少傾向にあるため、地域公共交通全体の利用促進を図る必要がある。	デマンドバスの利用は好調であるが、料金に関する要望の対応が必要。一方で路線バス・タクシーの利用が減少傾向にあるため、地域公共交通全体の利用促進を図る必要がある。	
		指標1	基準値(H27)	1日平均乗車人数(単位:人)		
	目標	10.00	12.00	12.00	12.00	
	実績	12.02	12.58	12.71	11.58	
	達成率	%	105	106	97	
塩釜地区難視対策事業	企画課	実施内容	無線共聴施設の整備による新たな難視の解消			
		進捗・効果	無線共聴施設整備完了により、デジタル混信による難視地域の解消が図られた。			
		今後の課題	施設の適切な管理による維持管理費用の抑制、長期不在住宅(1戸)の戸別対策実施。			
	指標1	基準値(H27)	新たな難視解消地域数(単位:地域)			
	目標	-	1			
実績	-	1				
達成率	%	100				
デマンドバス車両購入事業	企画課	実施内容	デマンドバス車両(10人乗り)1台購入※購入した車両は運行事業者は無償貸与			
		進捗・効果	乗降時の不安解消のため低床タイプの車両に更新することで利便性が、地元小学生が描いた絵のラッピングを施すことで視認性・愛着感の向上が図られた。			
		今後の課題	車両の適切な維持管理			
	指標1	基準値(H27)	1日平均 デマンドバス利用者(単位:人)			
	目標	10.00	12.00			
実績	12.02	12.58				
達成率	%	105				

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)
 【項目】住宅

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
定住促進住宅等奨励事業	企画課	実施内容	若者等の定住を促進するため住宅建設(購入)費用の一部を助成	若者等の定住を促進するため住宅建設(購入)費用の一部を助成	若者等の定住を促進するため住宅建設(購入)費用の一部を助成		
		進捗・効果	助成金を3件(新築1件、中古住宅購入2件)交付し、定住促進が図られた。	助成金を1件(新築1件)交付し、定住促進が図られた。	助成金を3件(新築3件)交付し、定住促進が図られた。		
		今後の課題	財源の確保(過疎地域自立促進対策事業債(ソフト)を活用)	財源の確保(過疎地域自立促進対策事業債(ソフト)を活用)、ニーズを把握したうえで制度の検証・見直し。	財源の確保(過疎地域自立促進対策事業債(ソフト)を活用)、ニーズを把握したうえで制度の検証・見直し。		
		指標1	基準値(H27)	交付件数(単位:件)			
		目標	3	3	3	3	
		実績	2	3	1	3	
		達成率	%	100	33	100	
定住促進住宅構想作成事業	企画課	実施内容	若者が住んでみたいと思う定住促進住宅整備プランの作成				
		進捗・効果	町内の建築業に従事する若者や子育て中の若者等の意見が反映された住宅整備プランを作成した。				
		今後の課題	定住促進住宅整備(ハード事業)に係る財源の確保。				
		指標1	基準値(H27)	計画策定数(単位:件)			
		目標	-	1			
		実績	-	1			
		達成率	%	100			
定住促進住宅整備事業	企画課	実施内容		定住促進住宅整備用地の購入	定住促進住宅整備用地の測量調査、地質調査実施		
		進捗・効果		今後、住宅整備する用地を確保することができた。	住宅整備に向けた基礎的な調査を計画的に実施することができた。		
		今後の課題		用地造成開始までの用地の適切な維持管理、全体の事業規模が大きいため財源の確保。	用地造成開始までの用地の適切な維持管理、全体の事業規模が大きいため財源の確保。		
		指標1	基準値(H27)	用地購入及び設計業務発注数(単位:件)			
		目標	-		1	2	
		実績	-		1	2	
		達成率	%		100	100	
町営住宅建替事業	建設課	実施内容		基本設計(地質調査等)及び実施設計(H30年度施工分)を行った。	建設工事(2棟8戸)外、工事監理、次年度分の実施設計を行った。		
		進捗・効果		基本設計では団地全体の計画を決定し、実施設計では平成30年度施工分の工事費等が決定した。	計画どおり実施した。全戸(8戸)入居した。		
		今後の課題		実施設計について、平成31年度施工分を平成30年度に実施。	H31施工箇所は、既存住宅に近いため、工事の際には配慮が必要。		
		指標1	基準値(H27)	住環境改善率(単位:パーセント)			
		目標	-		0.10	13.80	
		実績	-		0.10	13.80	
		達成率	%		100	100	
丸山団地設備改修事業	建設課	実施内容	次年度施工の工事について実施設計を行った。	丸山団地60年度棟(3棟12戸)について設備等の改修工事を行った。			
		進捗・効果	委託により、施工方法及び工事費が決定した。	工事により住環境の改善を図ることが出来た。			
		今後の課題	居住者が住みながらの工事になるため、施工には注意が必要である。	適切な維持管理を行う。			
		指標1	基準値(H27)	委託件数及び改修住宅戸数(単位:件・戸)			
		目標	-	1	12		
		実績	-	1	12		
		達成率	%	100	100		

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】住宅

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
美山団地設備改修事業	建設課	実施内容	H30年度施工の工事について実施設計を行った。	美山団地61・1年度棟について、耐力度調査を行った。	3棟12戸のユニットバス化及び設備改修工事の実施を行った。	
		進捗・効果	委託により、施工方法及び工事費が決定した。	調査の結果、建物の耐力度について問題は無く、次年度の工事着手に支障は無いことが証明され	計画どおり実施した。居住環境が改善され利便性が高まった。	
		今後の課題	居住者が住みながらの工事になるため、施工には注意が必要である。	次年度以降、予定どおり工事を施工する。	実施を先送りしている屋根改修について、長寿命化の観点から実施が必要である	
		指標1 基準値(H27)	委託件数及び改修住宅戸数(単位:件・戸)			
	目標	-	1	1	12	
	実績	-	1	1	12	
	達成率	%	100	100	100	
三岳団地給湯設備改修事業	建設課	実施内容	三岳団地7号棟(1棟6戸)について、給湯設備等の改修工事を行った。	三岳団地8号棟(1棟12戸)について、給湯設備等の改修工事を行った。		
		進捗・効果	給湯器及び給湯管を更新し長寿命化を図ることが出来た。又、1階部分の危険な給排気管を是正することが出来た。	給湯器及び給湯管を更新し長寿命化を図ることが出来た。		
		今後の課題	建設から20年以上経過しており、未改修部分の改修が必要になって来ている	建設から20年以上経過しており、未改修部分の改修が必要になって来ている		
		指標1 基準値(H27)	改修済住宅戸数(単位:戸)			
	目標	66	72	84	84	
	実績	66	72	84	84	
	達成率	%	100	100	100	
三岳団地污水管改修事業	建設課	実施内容	三岳団地1・7・8号棟の外部污水管の改修工事を行った。	三岳団地2・5・6号棟及び3号棟の一部について、外部污水管の改修工事を行った。		
		進捗・効果	施工完了により、この区間の地下水流入が無くなり浄化槽への負担が軽減された	施工完了により、この区間の地下水流入が無くなり浄化槽への負担が軽減された		
		今後の課題	基本的に管交換は不可能なので、地震等により破損した場合には同様の工事が必要である。	基本的に管交換は不可能なので、地震等により破損した場合には同様の工事が必要である。		
		指標1 基準値(H27)	污水管改修棟数(単位:棟)			
	目標	-	3	3		
	実績	-	3	3		
	達成率	%	100	100		
館古住宅解体事業	建設課	実施内容	老朽化の著しかった館古町有住宅(1棟6戸)を除却した。			
		進捗・効果	老朽建物の解体により悪化していた景観が是正された。又、屋根の雪が町道まで落下する危険な状態が解消された。			
		今後の課題	特になし。			
		指標1 基準値(H27)	解体棟数(単位:棟)			
	目標	-	1			
	実績	-	1			
	達成率	%	100			
空家対策支援事業	建設課	実施内容	10件の目標であった空家解体助成について、16件の申請が有り助成を行った	10件の目標であった空家解体助成について、26件の申請が有り助成を行った	空家除去補助14件実施。空家審議会2回開催した。	
		進捗・効果	目標10件のものが16件行われたことにより、特定空家の発生する可能性が減少された。	目標10件のものが26件行われたことにより、特定空家の発生する可能性が減少された。	空家件数増加の抑制。	
		今後の課題	現在危険な建物の解体を更に促進していく必要がある。	現在危険な建物の解体を更に促進していく必要がある。	管理不全建物の減少が重要である。	
		指標1 基準値(H27)	解体空家戸数(単位:戸)			
	目標	-	10	10	10	
	実績	-	16	26	14	
	達成率	%	160	260	140	

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】児童福祉、子育て支援

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
出産祝金交付事業	企画課	実施内容	子育て世代の経済的負担の軽減と、子育てを地域で応援し定住促進を図り人口の増加を目指すため出産祝金を交付	子育て世代の経済的負担の軽減と、子育てを地域で応援し定住促進を図り人口の増加を目指すため出産祝金を交付	子育て世代の経済的負担の軽減と、子育てを地域で応援し定住促進を図り人口の増加を目指すため出産祝金を交付		
		進捗・効果	25件(出生18件、2年目以降7件)の出産祝金の交付により子育て世代の経済的負担軽減が図られた。	20件(出生11件、2年目以降9件)の出産祝金の交付により子育て世代の経済的負担軽減が図られた。	18件(出生9件、2年目以降9件)の出産祝金の交付により子育て世代の経済的負担軽減が図られた。		
		今後の課題	財源の確保(過疎地域自立促進対策事業債(ソフト)を活用)	財源の確保(過疎地域自立促進対策事業債(ソフト)を活用)	財源の確保(過疎地域自立促進対策事業債(ソフト)を活用)		
		指標1	基準値(H27)	交付件数(単位:件)			
		目標	17	20	20	20	
		実績	21	25	20	18	
		達成率	%	125	100	90	
医療費助成事業	福祉課	実施内容	高校生までの医療費に係る自己負担分の全額助成	高校生までの医療費に係る自己負担分の全額助成	高校生までの医療費に係る自己負担分の全額助成		
		進捗・効果	子育て世代の医療費に係る経済的負担の軽減が図られた。	子育て世代の医療費に係る経済的負担の軽減が図られた。	子育て世代の医療費に係る経済的負担の軽減が図られた。		
		今後の課題	特になし。	特になし。	特になし。		
		指標1	基準値(H27)	助成件数(単位:件)			
		目標	380	380	380	380	
		実績	322	340	322	342	
		達成率	%	89	85	90	
福島保育所 子育てサロン 増築事業	福島保育所	実施内容	子育てサロン増築 A=104.84㎡ 実施設計委託、備品購入、冷暖房設備の整備				
		進捗・効果	子育てサロンを増築したことにより、子育て世代の交流広場の提供を図れた。				
		今後の課題	子育て環境の充実と利用促進のPR。				
		指標1	基準値(H27)	子育てサロン利用人数(単位:人)			
		目標	2,800	2,800			
		実績	3,922	2,823			
		達成率	%	101			

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】火葬場、墓地

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合葬式墓地整備事業	町民課	実施内容			合葬式墓地の建設 L=37.12㎡ H30年利用実績 13件 生前登録 15件	
		進捗・効果			少子高齢化・核家族等の増加に伴い、墓地の継承者不足の課題を解消することができた。	
		今後の課題			特になし。	
		指標1	基準値(H27)	合葬式墓地の周知		
	目標	-			1	
	実績	-			1	
	達成率	%			100	

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】防災

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
防災備蓄品整備事業	総務課	実施内容		自助、共助、公助における公助を実施するため、行政備蓄品を充実し、また、仮設避難所施設整備として災害用エアテントの整備を行う。			
		進捗・効果		災害用エアテントは防災備蓄倉庫に保管し、災害時に速やかに活用できるよう備え付けている。			
		今後の課題		防災備蓄品は、耐用年数や消費期限が到来することから、後年度において更新する必要があるため、費用負担が発生する。			
		指標1	基準値(H27)	防災訓練の回数			
		目標	1		1		
		実績	1		1		
達成率	%		100				
小規模治山事業(補助)	産業課(農林)	実施内容	小規模治山事業法界寺地先(福島地区)	小規模治山事業法界寺地先(福島地区)	小規模治山事業法界寺地先(福島地区)		
		進捗・効果	法枠工 130.3㎡	法枠工 371.2㎡	法枠工 406.4㎡ 水路工 95.2m		
		今後の課題	なし	なし	なし		
		指標1	基準値(H27)	小規模治山施設整備箇所数(単位:件)			
		目標	1	1	1	1	
		実績	0	1	1	1	
達成率	%	100	100	100			
小規模治山事業(町単独)	産業課(農林)	実施内容	小規模治山事業館崎地区(1ヶ所)	なし	なし		
		進捗・効果	落石防護柵設置	なし	なし		
		今後の課題	維持補修等の整備が必要となる。	なし	なし		
		指標1	基準値(H27)	小規模治山施設整備箇所数(単位:件)			
		目標	3	3	3	3	
		実績	3	1	0	0	
達成率	%	33	0	0			
普通河川河道整備事業	建設課	実施内容	普通河川茂山川の河道整備を行った。	普通河川宮歌川(L=200m)の河道整備を行った。			
		進捗・効果	河道整備により、堆積した土砂の撤去や、洗掘された箇所への補修を行い、出水時による洪水の発生を防止できた。	出水時の河川の安全性が確保された。			
		今後の課題	洪水対策のため、定期的な河道整備が必要である。	適切な維持管理を行う。			
		指標1	基準値(H27)	整備河川本数(単位:本)			
		目標	-	1	1		
		実績	-	1	1		
達成率	%	100	100				

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】消防・救急

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
消火栓更新事業	福島消防署	実施内容	老朽化している消火栓の更新	老朽化している消火栓の更新(2基)道路新設に伴う消火栓の新設(1基)			
		進捗・効果	消火活動に支障をきたさないよう計画的な更新が行われた。	消火活動に支障をきたさないよう計画的な更新が行われた。			
		今後の課題	適切な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。	適切な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。			
		指標1	基準値(H27)	消火栓の基数(単位:基)			
		目標	61	66	70		
		実績	61	66	68		
		達成率	%	100	97		
消防団員用防火衣更新事業	福島消防署	実施内容	火災出動時等、消防団員が着用する防火衣の老朽化により更新				
		進捗・効果	火災出動時等における団員の安全が確保された。				
		今後の課題	適切な管理により団員の安全確保を図る定期的な更新が必要となる。				
		指標1	基準値(H27)	消防団員数(単位:人)			
		目標	71	71			
		実績	71	71			
		達成率	%	100			
作業車更新事業	福島消防署	実施内容	老朽化した作業車の更新				
		進捗・効果	水・火災出動等、消防活動時の人員及び資機材運搬を安全かつ適切に行うことが可能となる。				
		今後の課題	適切な管理により維持管理費用の圧縮を図る。				
		指標1	基準値(H27)	作業車輛更新数(単位:台)			
		目標	1	1			
		実績	1	1			
		達成率	%	100			
分団器具置場建替事業	福島消防署	実施内容	建築後40年以上経過した、白符分団器具置場の建て替え				
		進捗・効果	分団器具の適切な維持管理並びに円滑な消防団活動の遂行が図られる。				
		今後の課題	適切な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。				
		指標1	基準値(H27)	分団器具置場の施設数(単位:箇所)			
		目標	3	3			
		実績	3	3			
		達成率	%	100			
水槽付消防ポンプ自動車更新事業(水1-A型)	福島消防署	実施内容		購入から20年以上経過し、老朽化した車両の更新			
		進捗・効果		安心かつ安全な消防活動の遂行が図られる。			
		今後の課題		適正な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。			
		指標1	基準値(H27)	消防ポンプ車輛更新数(単位:台)			
		目標	4		1		
		実績	0		1		
		達成率	%		100		

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】消防・救急

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
小型動力ポンプ付分団積載車更新事業	福島消防署	実施内容			購入から25年以上経過し、老朽化した車両の更新		
		進捗・効果			円滑な消防団活動の遂行が図られる。		
		今後の課題			適正な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。		
		指標1	基準値(H27)	分団のポンプ車両更新数(単位:台)			
		目標	-			1	
		実績	-			1	
達成率	%			100			
小型動力ポンプ更新事業	福島消防署	実施内容			購入から25年以上経過し、老朽化した小型動力ポンプの更新		
		進捗・効果			円滑な消防団活動の遂行が図られる。		
		今後の課題			適正な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。		
		指標1	基準値(H27)	分団の小型動力ポンプ更新数(単位:台)			
		目標	-			1	
		実績	-			1	
達成率	%			100			
消防署庁舎改修事業	福島消防署	実施内容	消防署庁舎の改修にかかる調査設計	施設の老朽化に伴屋上及び外壁の改修	施設の老朽化に伴う暖房設備及び照明器具の改修		
		進捗・効果	防災活動の拠点施設である消防署庁舎の改修計画が示された。	防災活動の拠点施設である消防署庁舎の改修が計画どおり行われた。	防災活動の拠点施設である消防署庁舎の改修が計画どおり行われた。		
		今後の課題	次年度以降発生する改修費用の財源確保。	次年度実施する改修費用の財源確保。適切な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。	適正な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。		
		指標1	基準値(H27)	改修箇所数(単位:箇所)			
		目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	
達成率	%	100	100	100			
防火水槽改修事業	福島消防署	実施内容		松浦町内会から要望のあった松浦地区防火水槽の取水口を撤去し、新たにスタンドパイプを設置			
		進捗・効果		取水口を撤去し道路と同じレベルにすることで車両衝突事故を防止。また、スタンドパイプを設置することで冬期間における消火活動にも支障をきたすことの無いようになった。			
		今後の課題		適切な管理により維持管理に要する費用の圧縮を図る。			
		指標1	基準値(H27)	改修施設数(単位:箇所)			
		目標	-		1		
		実績	-		1		
達成率	%		100				

【基本方向】豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

【項目】交通安全・防犯

事業名	担当課	項目	実施検証			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
交通安全施設事業	建設課	実施内容	新栄町地区の道路照明7基をLED照明に更新した			
		進捗・効果	電気料の軽減になった			
		今後の課題	適正な維持管理を行う			
		指標1	基準値(H27)	道路照明数(単位:基)		
	目標	-	7			
	実績	-	7			
	達成率	%	100			
防犯灯LED化照明導入促進事業	建設課	実施内容		防犯灯730基のLED化を行った	防犯灯等186基のLED化を行った	
		進捗・効果		町内会負担の街灯料が縮減された	電気料金が削減と省エネが成された	
		今後の課題		適切な維持管理を行う	適切な維持管理を行う	
		指標1	基準値(H27)	LED化する街灯数		
	目標	-		730	175	
	実績	-		730	186	
	達成率	%		100	106	

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】生涯学習(推進体制)

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
福祉センター 高圧設備改 修事業	教育委員会 事務局 (生涯学習)	実施内容			設置から40年以上が経過した、高圧受変電設備のキュービクル高圧機器を取り換える改修工事を行った	
		進捗・効果			改修工事は完了し、稼働している状況である	
		今後の課題			定期的な保守点検をしていく必要がある	
	指標1	基準値(H27)	福祉センター利用者数			
	目標	-			21,000	
実績	-			19,698		
達成率	%			94		

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】 幼児教育、学校教育

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
基礎学力向上対策事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容	町の臨時職員として教諭を採用し、チームティーチングを展開している。また、基礎学力向上対策委員会に助成金を交付し、先進地を視察研修し、指導方法等を改善する。	町の臨時職員として教諭を採用し、チームティーチングを展開している。また、基礎学力向上対策委員会に助成金を交付し、先進地を視察研修し、指導方法等を改善する。	町の臨時職員として教諭を採用し、チームティーチングを展開している。また、基礎学力向上対策委員会に助成金を交付し、指導方法等を改善する。		
		進捗・効果	目標に設定しているTT等の授業時数はクリアしている。また、計算・漢字ドリルソフトを活用することにより、習熟度別に指導ができています。	目標のTT授業時数をクリアしているだけでなく、町費臨時教諭については部活動の指導も行っており、教職員の負担軽減となっている。	町費臨時教諭については、TT授業だけでなく、免許外教科や部活動の指導も行っており、教職員の負担軽減に大きな効果を発揮している。		
		今後の課題	基礎学力の向上については、一朝一夕にできるものではないので、継続的な実施が必要である。	より効果的な町費臨時教諭の活用方法を検討し、教職員の負担を軽減させ、生徒への指導時間を増やすことが必要である。	管内全体的に期限付教諭の活用方法を検討し、教職員の確保が難しくなっている。		
		指標1	基準値(H27)	臨時教員によるTT等の授業時数(単位:時間)			
		目標	385	385	385	385	
		実績	0	407	404	408	
		達成率	%	106	105	106	
ALT招致事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容	福島小学校と福島中学校に配置し、TT指導をする。吉岡小学校に週1日指導する。保育所・幼稚園・商業高校でも英語指導をする。一般町民への英会話教室も実施。	福島小学校と福島中学校に配置し、TT指導をする。吉岡小学校に週1日指導する。保育所・幼稚園・商業高校でも英語指導をする。	福島小学校と福島中学校に配置し、TT指導をする。吉岡小学校に週1日指導する。保育所・幼稚園・商業高校でも英語指導をする。		
		進捗・効果	活動指標の目標指導時間数はクリアしている。生の英会話を体験できているので、英語力の向上に繋がっている。	活動指標の目標指導時間数はクリアしている。また、学校外の様々な事業等にも積極的に参加しているため、町民が英語に触れる良いきっかけとなっている。	活動指標の目標指導時間数はクリアしている。また、学校外でも町民向けの英会話教室等の実施により、町民の英語学習の機会を設けることができた。		
		今後の課題	平成30年度からの小学5・6年生の英語の教科化等もあるので、今後もALTの2名体制を継続する必要がある。	平成30年度からの小学5・6年生の英語の教科化等もあるので、今後もALTの2名体制を継続する必要がある。	2020年度からの新学習指導要領本格施行により小学校での外国語授業時数が増となるため、今後もALTの2名体制を継続する必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	ALTによるTT授業時数(単位:時間)			
		目標	550	600	600	600	
		実績	0	600	608	621	
		達成率	%	100	101	104	
教育用コンピュータ等整備事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容	クレバークイズ熊谷氏にICT整備基本計画を委託し、策定した。また、H29予定のコンピューター室のタブレット化と校務用PCの整備を前倒した。	平成30年度にタブレット端末を児童生徒数分導入するため、検討会議を実施し、仕様の確定と予算化について調整する。	平成30年度に児童生徒一人一台のタブレット端末及び各教室用ノートパソコン等を導入することにより、各学校でのICT教育を充実させる。		
		進捗・効果	H29年度当初よりタブレットを活用した授業と、校務支援システムによる学校事務の運営を開始できるようになった。	教師用タブレットを先行導入した後に、検討会議にて仕様を確定させた。また、財源については備考資金組合を利用するため、申請事務を行い、内定となった。	平成30年7月に、北海道市町村備考資金組合の防災資器材購入事業を利用し、タブレット端末等を導入することにより、各学校におけるICT教育の環境整備を達成した。		
		今後の課題	平成30年度に予定している、タブレット端末を児童生徒数分導入するための検討会議の実施が必要となる。また、校務支援システム活用の状況も随時確認していく。	平成30年度の2学期を目処に導入する予定のため、学校等との十分な連絡調整が必要となる。また、導入後の支援については、クレバークイズと学校との接続を円滑に行う。	教諭のタブレット端末等を含めたICT機器を活用した授業のレベルアップが必要である。		
		指標1	基準値(H27)	学校ICT整備計画策定・支援(単位:校)			
		目標	-	3	3	3	
		実績	-	3	3	3	
		達成率	%	100	100	100	

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】 幼児教育、学校教育

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
吉岡小学校改修事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容	吉岡小学校の浄化槽補修工事と北側校舎屋根塗装工事を施工した。				
		進捗・効果	校舎の不具合を改修したことにより、教育環境の改善が図られた。				
		今後の課題	学校からの改修要望を確認しながら、計画的な維持管理が必要となる。				
		指標1	基準値(H27)	改修箇所数(単位:件)			
		目標	-	2			
		実績	-	2			
		達成率	%	100			
福島中学校改修事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容	福島中学校の玄関庇屋上防水改修工事を施工した。				
		進捗・効果	校舎の不具合を改修したことにより、教育環境の改善が図られた。				
		今後の課題	学校からの改修要望を確認しながら、計画的な維持管理が必要となる。				
		指標1	基準値(H27)	改修実施箇所数(単位:件)			
		目標	-	1			
		実績	-	1			
		達成率	%	100			
教員住宅改修事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容		老朽化している教員住宅の設備(浄化槽設置及び水回り等)について、計画的に改修工事を実施する。	老朽化している教員住宅の設備(浄化槽設置及び水回り等)について、計画的に改修工事を実施する。		
		進捗・効果		排水環境が悪い三岳2号棟を最初の改修工事と決定し、実施設計から改修工事までを完了した。	改修工事の2ヶ年目として、町内で一番古い教員住宅である三岳1号棟の改修工事を実施した。		
		今後の課題		入居者への丁寧な工事説明等を行い、工事への円滑な対応が必要である。また、今後の工事について、各棟における状況を把握し、設計変更等を事前に把握する。	建設課との連携を密にした工事施工が必要である。		
		指標1	基準値(H27)	教員住宅改修実施棟数(1棟4戸)			
		目標	-	1			
		実績	-	1			
		達成率	%	100			
福島商業高校存続対策事業	教育委員会事務局(学校教育)	実施内容	福島商業高校へ通学する生徒の保護者へ、各種補助を実施した。「入学奨励金」「通学定期補助」「運転免許取得補助」「各種大会補助」等	福島商業高校へ通学する生徒の保護者へ、各種補助を実施した。「入学奨励金」「通学定期補助」「運転免許取得補助」「各種大会補助」等	福島商業高校へ通学する生徒の保護者へ、各種補助を実施した。「入学奨励金」「通学定期補助」「運転免許取得補助」「各種大会補助」等		
		進捗・効果	平成28年度の入学生徒数は減となったが、通学定期の補助を全額に拡大、運転免許取得補助の開始等により、次年度の入学者数増に繋がった。	補助内容は前年同様だが、通学補助について補助単位を毎月に変更することにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。	各種補助の実施により、町外からの入学者を継続して確保することができた。		
		今後の課題	福島商業高校への入学者数確保のため、継続的な実施が必要である。	福島商業高校への入学者数確保のため、継続的な実施が必要である。	今後の地元中学校の卒業見込者数及び進学率を考慮し、福島町における高等教育(学校)の在り方を抜本的に検討する必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	入学者数の確保(単位:人)			
		目標	20	20			
		実績	23	15			
		達成率	%	75			

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】 幼児教育、学校教育

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
スクールバス 購入事業	教育委員会 事務局 (学校教育)	実施内容		スクールバス(43人乗り) 1台購入		
		進捗・効果		老朽化したスクールバス が計画どおり更新された。		
		今後の課題		車両の適切な維持管理 により、費用の縮減に努 める。		
		指標1	基準値(H27)	スクールバス児童生徒輸送人数(単位:人)		
		目標	-		5,000	
		実績	-		6,346	
		達成率	%		127	
		目標 実績				
学校給食費 支援補助事 業	教育委員会 事務局 (学校教育)	実施内容	福島町学校給食会からの 申請に基づき、補助金の 交付を行った。また、学校 給食会は補助金により学 校給食を運営したため、 保護者の給食費負担は 実質無償となった。			
		進捗・効果	福島町食育推進計画の 円滑な遂行の支援がで きた。また、給食費を補 助することにより、保護 者の負担軽減となった。			
		今後の課題	給食費については平成2 9年度から公会計へ移行 となったため、事業終了 となる。			
		指標1	基準値(H27)	児童生徒数(単位:人)		
		目標	236		211	
		実績	0		211	
		達成率	%		100	
		目標 実績				
吉岡小学校 アスベスト対 策事業	教育委員会 事務局 (学校教育)	実施内容		吉岡小学校集合円筒の 断熱材にアスベストが含 有されていることが発覚 したため、当該煙突の封 じ込め及び集合煙突の新 設工事を行う。		
		進捗・効果		学校の夏休み期間にて 工事を実施し、アスベ ストの封じ込めを完了 した。		
		今後の課題		特になし。		
		指標1	基準値(H27)	集合煙突アスベスト対策率(単位:%)		
		目標	-		100	
		実績	-		100	
		達成率	%		100	
		目標 実績				
福島中学校 楽器整備事 業	教育委員会 事務局 (学校教育)	実施内容			福島中学校吹奏楽部の 楽器老朽化等に対応す るため、楽器を購入す ることにより、円滑な 吹奏楽部の運営を図 る。	
		進捗・効果			平成30年度はティン パニ及びトランペ ットを購入し、部活 動の活性化を図るこ うができた。	
		今後の課題			生徒数の減少による 部員の確保が必要で ある。	
		指標1	基準値(H27)	吹奏楽部 部員数(単位:人)		
		目標	-			23
		実績	-			13
		達成率	%			57
		目標 実績				

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】 幼児教育、学校教育

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
給食配送車 購入事業	教育委員会 事務局 (給食セン ター)	実施内容	給食配送車2トラック、総 排気量4.0kW1台購入。 北海道備荒資金組合・防 災資機材譲渡資金活用。	給食配送車償還金	給食配送車償還金		
		進捗・効果	平成28年11月21日配送 車納車。平成28年度は 利息1,677円のみ。	償還金の返済代金 1,444,890円、利息5,415 円	償還金の返済代金 1,444,000円、利息3,971 円		
		今後の課題	車両の適切な維持管理。	車両の適切な維持管理。	車両の適切な維持管理。		
		指標1	基準値(H27)	給食の配送日数(単位:日)			
		目標	190	190	195	195	
		実績	190	192	205	209	
達成率	%	101	105	107			

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】 スポーツ

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
総合体育館 地下タンク改 修事業	教育委員会 事務局 (生涯学習)	実施内容		築40年が経過した地下タンクをFRP撒加工する改修工事を行った。		
		進捗・効果		改修工事については完了し、稼動している状況である。		
		今後の課題		定期的な保守点検をしていく必要がある。		
	指標1	基準値(H27)	総合体育館利用者数			
	目標	-		21,900		
実績	-		20,788			
達成率	%		95			

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】芸術文化、文化財

事業名	担当課	項目	実施検証			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
埋蔵文化財保管庫整備等事業	教育委員会事務局(生涯学習)	実施内容	チロップ館内に復元土器等の埋蔵文化財を保管する棚の設置を実施。		チロップ館のリニューアルオープンに伴い、来館者が見学しやすい埋蔵文化材の展示を行った。	
		進捗・効果	埋蔵文化財の保管及び展示場所としての効果が期待される。		展示物のキャプションや説明チラシを設置することで、従来よりも見学しやすい展示となっている。	
		今後の課題	復元土器等の展示活用方法が課題である。		展示物の入れ替えや、学校授業を活用することで、さらなる展示の充実を図る。	
		指標1 基準値(H27)	埋蔵文化財見学回数(単位:回/年)			
		目標	-	2		5
		実績	-	1		9
		達成率	%	50		180
		指標2 基準値(H27)	埋蔵文化財見学可能日数(単位:日/年)			
		目標	-	50		200
		実績	-	50		204
達成率	%	100		102		
地域文化振興支援事業	教育委員会事務局(生涯学習)	実施内容	福島大神宮祭礼行列に伴う四ヶ散米行列及び奴行列の保存、伝承のための着物・用具の整備を行った。			
		進捗・効果	伝統芸能の披露をとおして、地域におけるコミュニティ活動の維持と活性化が図られ、地域文化の振興を深めることができた。			
		今後の課題	伝統芸能を後世に伝承するため演者の指導・育成が課題である。			
		指標1 基準値(H27)	演技者数(単位:人)			
		目標	35	35		
		実績	0	35		
		達成率	%	100		
		指標2 基準値(H27)	改修予定用具数			
		目標	70	73		
		実績	0	73		
達成率	%	100				
横綱太鼓用具整備事業	教育委員会事務局(生涯学習)	実施内容			伝統芸能(横綱太鼓)の用具老朽化による用具整備を行った。	
		進捗・効果			用具の整備は完了し、各種事業において演奏などを行っている。	
		今後の課題			用具の丁寧な管理と、演者の育成が必要。	
		指標1 基準値(H27)	改修予定用具数			
		目標	-			10
実績	-			16		
達成率	%			160		

【基本方向】学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

【項目】 地域間交流、国際化

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
友好市町交流事業	教育委員会事務局 (学校教育)	実施内容	両市町の中学生と当町の中学生との交流を行った(長野県木曾町へ派遣・長崎県松浦市の受入)	両市町の中学生と当町の中学生との交流を行った(長野県木曾町へ派遣・長崎県松浦市の受入また、小学校児童を東京都墨田区へ派遣し、交流を行った)	両市町の中学生と当町の中学生との交流を行った(長野県松浦市へ派遣・長野県木曾町の受入また、小学校児童の東京都墨田区派遣も継続実施した)	
		進捗・効果	生徒交流事業参加者の感想文等において、交流事業の評価が高い。また、実施後も個々の交流が継続されている例もあるなど、生徒交流としての目的を達成している。	今年度から、中学生だけでなく小学生についても交流事業を行い、町内児童・生徒に貴重な体験の場を提供できた。	昨年度から継続して小学生・中学生を対象とした交流事業を実施することにより、町内児童・生徒に貴重な体験の場を提供することができた。	
		今後の課題	同じ年度で派遣と受入両方の交流ができれば良いとの要望があるため、隔年でも良いので同じ交流先での派遣と受入を同年度に実施することを検討していく。	中学生の交流事業については、3市町にて引き続き実施時期等の検討を行う。小学校の墨田区派遣については、継続していく。	友好市町への小学生の派遣及び墨田区との相互交流が必要である。	
	指標1	基準値(H27)	中学生派遣人数(単位:人)			
	目標	6	6	6	6	
	実績	0	5	4	4	
	達成率	%	83	67	67	
	指標2	基準値(H27)	中学生受入人数(単位:人)			
	目標	8	6	8	6	
	実績	0	6	4	9	
達成率	%	100	50	150		

【基本方向】協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

【項目】コミュニティ

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
生活館等改修事業	総務課	実施内容	福島町公共施設維持保全計画に基づき、改修2施設、調査4施設、通常修繕を行う。	福島町公共施設維持保全計画に基づき、2施設の改修調査委託及び通常修繕として町内会館3施設の修繕を実施。	福島町公共施設維持保全計画に基づき、3施設の解体、実施設計及び新築工事を実施。		
		進捗・効果	調査については、H29年度に丸山会館、白符ふれあいセンターで調査終了(塩釜・岩部は調査しない)	平成29年度の改修調査により、該当施設すべての調査を終えている。この調査により、改修等が必要な箇所の把握に繋がった。	平成29年度の改修調査により、該当施設すべての調査を終えており、調査結果に基づき工事等を実施できている。		
		今後の課題	今年度中に会館整備計画(会館の統廃合及び解体、改修計画)を取りまとめる。	町内会館等の再編計画に基づき、統廃合に係る解体や改修の費用負担が発生する。	総合計画と整合性を図りながら町内会館等の再編計画に基づき、統廃合に係る解体や改修を実施するが、費用負担の増加が見込まれる。		
		指標1	基準値(H27)	改修調査・改修工事件数(単位:件)			
		目標	4	5	4	2	
実績	4	6	2	1			
達成率	%	120	50	50			

【基本方向】協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

【項目】 広報・広聴、情報発信

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
議場等音響設備更新事業	議会事務局	実施内容	本会議場マイクユニット、本会議場映像設備更新	本会議場マイクユニット、本会議場映像設備更新 年賦金の償還	本会議場マイクユニット、本会議場映像設備更新 年賦金の償還		
		進捗・効果	平成28年度に機器の更新は完了済み、備荒資金組 合年賦金償還は平成33 年度まで。	平成28年度に機器の更 新は完了済み、備荒資金 組合年賦金償還は平成3 3年度まで。	平成28年度に機器の更 新は完了済み、備荒資金 組合年賦金償還は平成3 3年度まで。		
		今後の課題	コンピュータのOSの変更 に伴う更新が予想される。	コンピュータのOSの変更 に伴う更新が予想される。	コンピュータのOSの変更 に伴う更新が予想される。		
		指標1	基準値(H27)	定例に再開する会議の会議録調整日数(単位:日)			
		目標	50	50	50	50	
		実績	50	78	24	31	
		達成率	%	156	48	62	
		指標2	基準値(H27)	特別委員会等の会議録調整日数(単位:日)			
		目標	80	80	80	80	
		実績	80	96	41	48	
		達成率	%	120	51	60	
議会中継システム更新事業	議会事務局	実施内容	議会中継システム及び編 集用パソコン等の更新	議会中継システム及び編 集用パソコン等の更新 年賦金の償還	議会中継システム及び編 集用パソコン等の更新 年賦金の償還		
		進捗・効果	平成27年度機器更新完 了、備荒資金組合年賦金 償還は平成31年度まで。	平成27年度機器更新完 了、備荒資金組合年賦金 償還は平成31年度まで。	平成27年度機器更新完 了、備荒資金組合年賦金 償還は平成31年度まで。		
		今後の課題	コンピュータのOSの変更 に伴う更新が予想される。	コンピュータのOSの変更 に伴う更新が予想される。	コンピュータのOSの変更 に伴う更新が予想される。		
		指標1	基準値(H27)	議会中継アクセス数(単位:件)			
		目標	50	50	50	50	
		実績	50	50	86	187	
		達成率	%	100	172	374	
		指標2	基準値(H27)	映像配信編集日数(単位:日)			
		目標	5	5	5	5	
		実績	5	4	3	2	
		達成率	%	80	60	40	

【基本方向】協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

【項目】行政運営

事業名	担当課	実施検証					
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
公共施設維持保全事業	総務課	実施内容			建物の老朽化により、屋根及び外壁を改修		
		進捗・効果			屋根及び外壁を改修することにより、施設の延命に繋がる。		
		今後の課題			老朽化している施設が多いことから、公共施設維持保全計画の見直しとともに、総合計画との整合性を図り事業を計画する必要がある。		
		指標1	基準値(H27)	解体調査・工事及び予防・維持保全の件数(単位:件)			
		目標	-			1	
		実績	-			1	
達成率	%			100			
公共施設等総合管理計画策定事業	総務課	実施内容	公共施設等を適正に維持管理するために計画を策定する。				
		進捗・効果	町全体の公共施設及びインフラ施設について、今後の維持管理を策定し、計画的な事業実施が図られる。				
		今後の課題	人口減少など社会の変化に対応し、施設配置と効率のかつ計画的な維持管理が必要となる。				
		指標1	基準値(H27)	計画策定数(単位:件)			
		目標	-	1			
		実績	-	1			
達成率	%	100					
情報サーバ・業務用パソコン更新事業	総務課	実施内容	効率的な行政事務処理を行うため、機器類の適正な維持管理・更新を行う。	効率的な行政運営を図るため、電子機器の適正な管理と業務用パソコンの計画的な更新を実施する。	効率的な行政運営を図るため、電子機器の適正な管理と業務用パソコンの計画的な更新を実施する。		
		進捗・効果	パソコンによる効率的な行政事務の処理を行う。	効率的な行政運営に有効に活用している。	効率的な行政運営に有効に活用している。		
		今後の課題	機器の耐用年数による更新やパソコン・サーバーのOSのサポート切れの都度に入替更新作業が発生するため経費がかかっている。	電子機器は、耐用年数やパソコン等のサポート切れにより定期的に更新する必要があり、経費が高むことが想定される。	電子機器は、耐用年数やパソコン等のサポート切れにより定期的に更新する必要があり、経費が高むことが想定される。		
		指標1	基準値(H27)	更新台数(単位:台)			
		目標	70	6	6	7	
		実績	70	6	2	3	
達成率	%	100	33	43			
情報セキュリティ強化対策事業	総務課	実施内容	基幹システムの認証2層化、情報系システムのLGWAN回線とインターネット回線を分離し、セキュリティ強化を図る。				
		進捗・効果	LGWANへの適切なアクセスや住民情報の流出を防ぐ。				
		今後の課題	今後更新する高度なセキュリティ強化対策の検討が見込まれる。				
		指標1	基準値(H27)	保守回数(単位:回)			
		目標	-	1			
		実績	-	1			
達成率	%	100					

【基本方向】協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

【項目】行政運営

事業名	担当課	実施検証				
		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
町有財産管理事業	総務課	実施内容		イベント物品保管倉庫兼 車両用車庫として購入		
		進捗・効果		購入後は、タイヤショベル やマイクロバスの車庫として 活用しており、また、平 成30年には修繕によりイ ベント物品の保管場所と して活用する。		
		今後の課題		当該建物は、昭和55年 に建設した建物で、シャッ ター、換気扇、外壁の波 型鋼板の腐食など、今 後、修繕費が高むことが 見込まれる。		
	指標1	基準値(H27)	イベント物品等管理施設数(単位:施設)			
	目標	-		1		
	実績	-		1		
	達成率	%		100		
戸籍総合システム更新事業	町民課	実施内容	備荒資金年賦金		機器更新備荒資金年賦 金	
		進捗・効果	機器更新分の備荒資金 年賦金(4年目)		機器更新分の備荒資金 年賦金(1年目)	
		今後の課題	平成30年2月に機器更 新予定。		特になし。	
	指標1	基準値(H27)	保守及び更新件数(単位:件)			
	目標	1	1	1	1	
	実績	1	1	1	1	
	達成率	%	100	100	100	

【基本方向】協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

【項目】 財政運営

事業名	担当課	項目	実施検証				
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
公会計システム改修事業	総務課 (財政)	実施内容	公会計システムバージョンアップ、財務会計システム連携、財務書類作成支援				
		進捗・効果	平成27年度決算から「統一的な基準」による財務書類を作成するため、公会計システムの改修等を行った。				
		今後の課題	新しく整備した財務書類により、財政状況の開示、将来を見据えた自治体経営に活用することが課題となっている。				
		指標1	基準値(H27)	財務書類の公表回数(単位:回)			
		目標	1	1			
		実績		1			
		達成率	%	100			